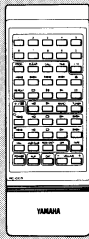
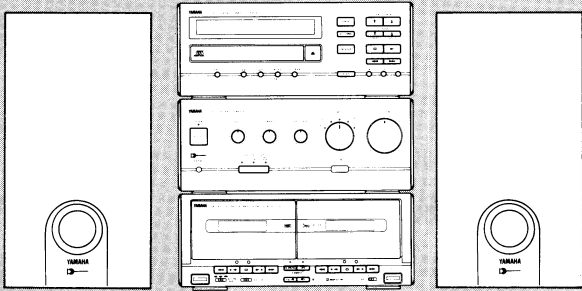
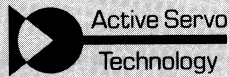


YAMAHA

取扱説明書



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



ニューコンパクトステレオ

CC-5

上手に使って上手に節電

もくじ

ページ

●おもな特長……………2	はじめに
●正しくお使いいただくために……………3	
●各部のなまえ……………5	
●リモコンについて……………9	
●お使いになる前の準備……………10	
●CDやテープについて……………13	
●時刻の合わせかた……………14	聞きかた
●CDを聞くには……………15	
●テープを聞くには……………21	
●ラジオ放送を聞くには……………25	
●音量や音質を調整するには……………28	
●CDから録音するには……………29	録音・その他
●テープ編集するには……………33	
●ラジオ放送を録音するには……………35	
●タイマーを使うには……………37	
●外部機器を楽しむには……………40	
●お手入れするには……………41	ご参考
●仕様について……………42	
●“故障”かな?と思ったら……………43	
●音楽著作権について……………45	
●ヤマハホットライン サービスネットワーク……………46	

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、この取扱説明書は、保証書とともに、必ず保存してください。

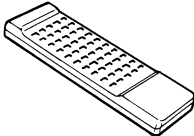
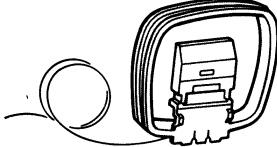
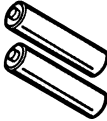

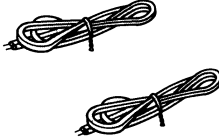


はじめに、次のことをお確かめください。

1 保証書にお買いあげ店名を記入してもらいましたか。

2 付属品はきちんとそろっていますか。

●付属品

<p>リモコン送信機 × 1</p> 	<p>AM用ループアンテナ × 1</p> 	<p>単 3 乾電池 × 2</p> 
<p>FM用アンテナ × 1</p> 	<p>スピーカーコード × 2</p> 	<p>その他</p> <p>取扱説明書 × 1 保証書 × 1</p>

----- ちょっとお知らせ -----

●あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

おもな特長

- ライフスタイルに合わせて、レイアウトが楽しめる
本体3ピースのニューデザインコンポ
- 電源を切っても、ワンタッチで
演奏を始めるダイレクトプレイ機能
- 小型スピーカーでも、豊かな重低音を再生する
ヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー搭載
- 50キー多機能ワイヤレスリモコン
- サウンドプロセッサー採用
- 実用最大出力100Wで迫力ある音が
楽しめます
- CDからの編集が簡単にできる
多機能・高音質CDプレーヤー



おもな特長

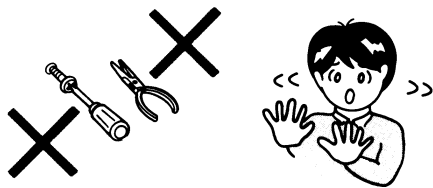
- フェザータッチ方式採用の
Wリバーズメカニズム
- FM10局、AM10局プリセット付
シンセサイザーチューナー

正しくお使いいただくために

お守りください

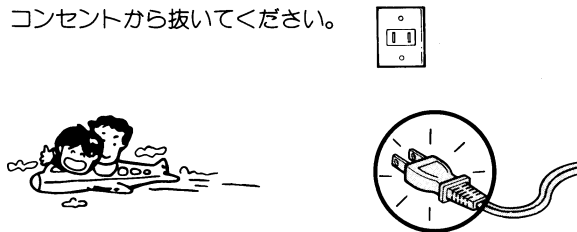
分解や改造は絶対にしないでください。

内部にさわると感電や故障の原因になります。
内部点検、調整は販売店におまかせください。



長時間ご使用にならないときは

- ふだんご使用にならないときは、電源を切ってください。
- 旅行など長時間お留守にされる場合は、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。



内部に異物を入れないでください。

- 内部に液体をこぼしたり、金属類や燃えやすい物を落とさないでください。
異物が入ったまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
- 特にお子さまのいるご家庭では注意してください。



電源コードの取り扱いについて

コードが傷ついたり、内部の線が露出したまま使用しないでください。火災や感電の原因になります。

危険防止のため、次の項目に注意してください。

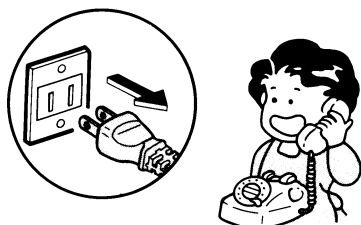
- この製品や家具、置物、敷物など重い物をのせないで！
 - 熱器具に近づけたり触れさせたりしないで！
 - 無理に曲げたり、ねじったり、結んだりしないで！
 - コードを抜くときは、プラグを持って！
 - ぬれた手で、プラグにさわらないで！
- 万一、コードがいたんだら、販売店に交換をご依頼ください。
(有料)

ご注意

近くに強い雷が発生したときは、電源コードをコンセントから抜いていただいた方が安全です。

異常が起きたら

万一異常な音、におい、煙が出たときや異物が中に入ったときは、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に連絡してください。また、本システムはチューナー／CD部、テッキ部、アンプ部の単体では動作しませんのでチューナー／CD部、テッキ部、アンプ部の組み合わせで修理をご依頼ください。



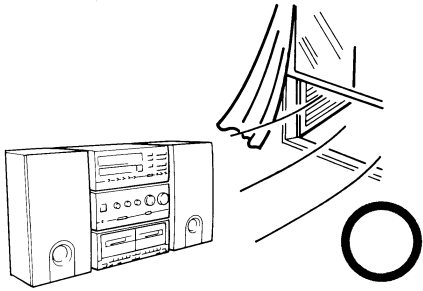
海外では使用できません。

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源、電圧が異なりますので使用できません。

<This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

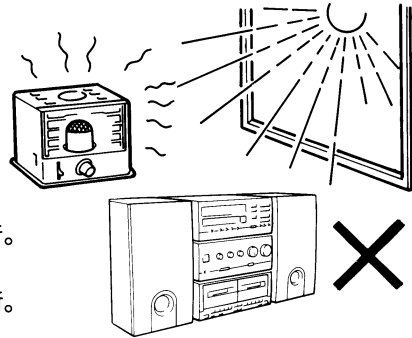
置き場所は

直射日光の当たらない、風通しの良い、安定した場所を選んでください。



次のような場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

- 直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く。
- ほこりや湿気の多い所。
- 水分のかかる所。
- 極端に寒い所。
- 振動の多い所。
- 熱器具や調理台のそばなど直接煙があたる所。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な所。
- 磁気や電気雑音が発生しやすいものから近い所。
- 風通しが悪く狭い所。



正しくお使いいただくために

"つゆつき"現象について

つぎのような場合には、内部のレンズやCDに露(水滴)がつくことがあります。

- ストープをつけた直後。
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
- 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

■ 露がついてしまうと

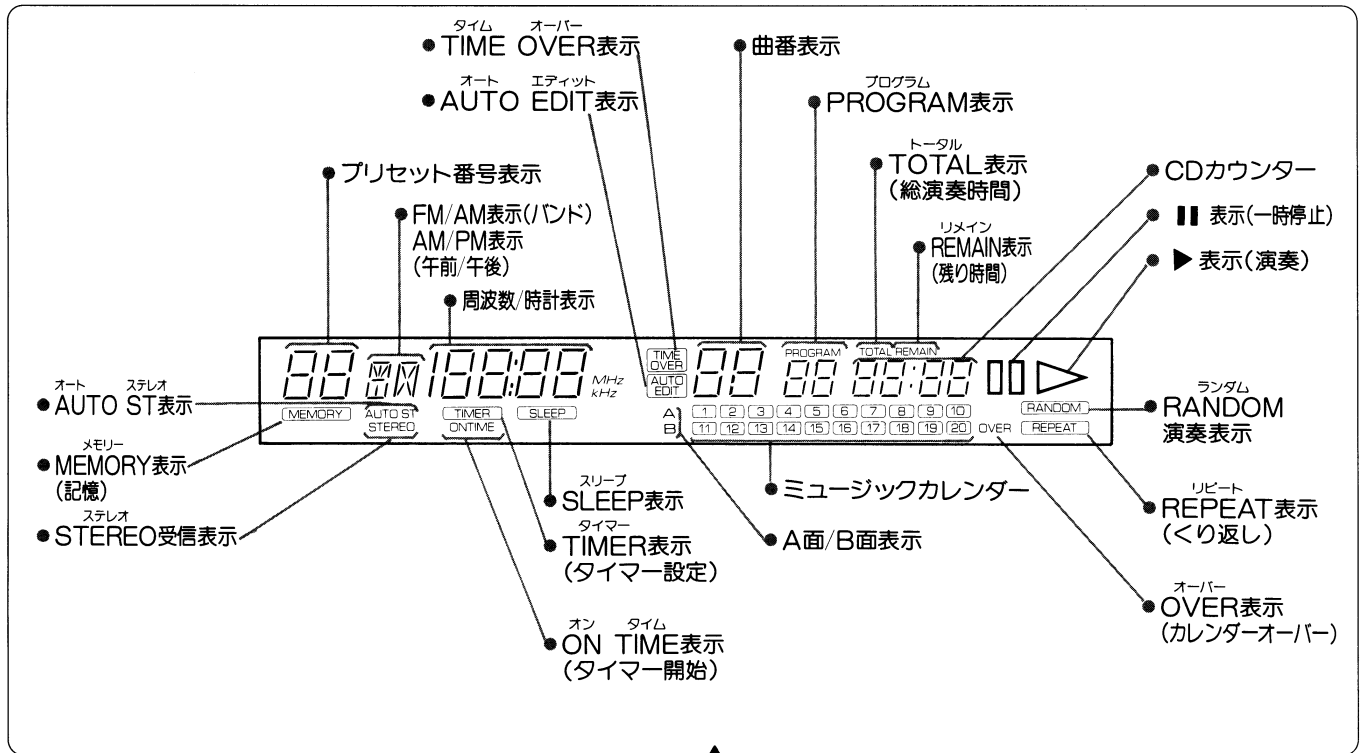
CDの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

■ 露を取るには

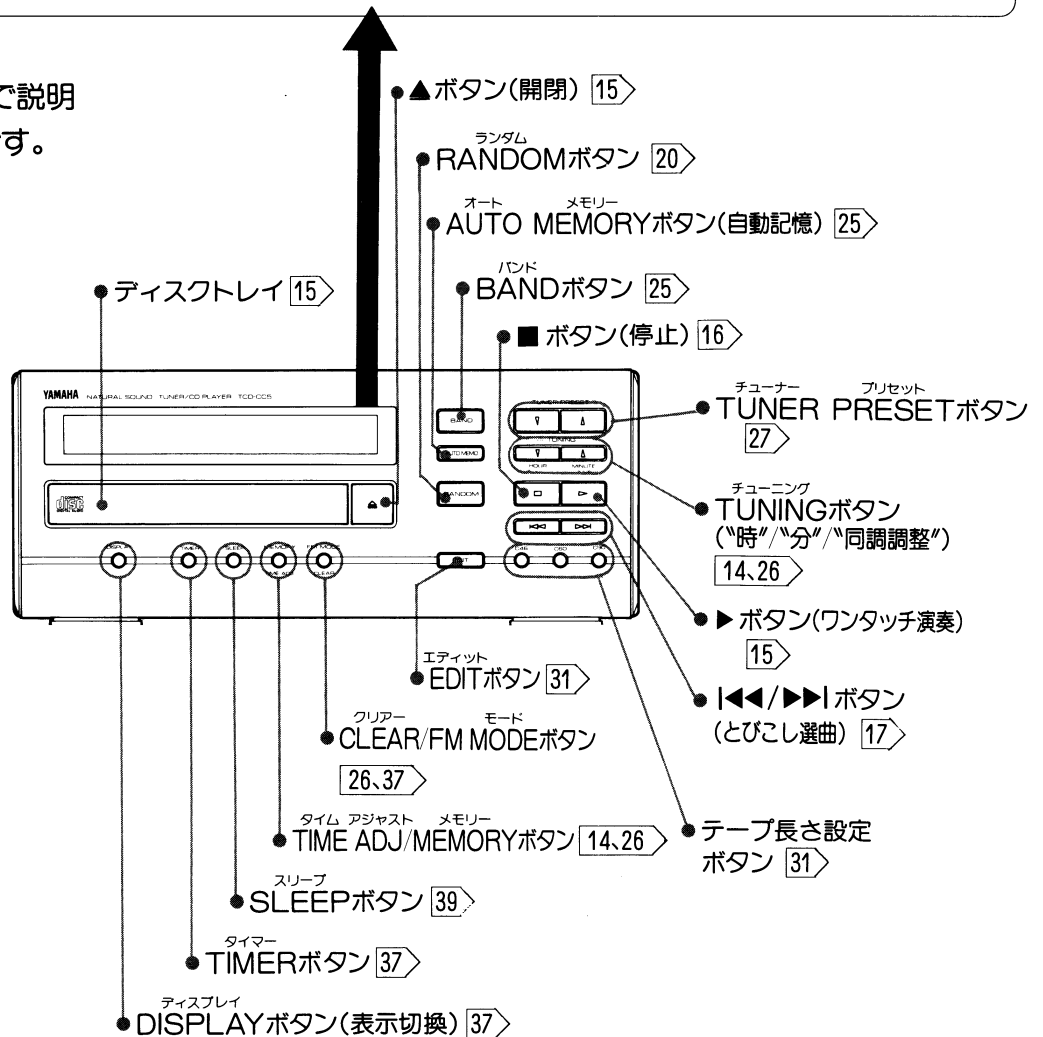
CDを取り出して電源を入れておけば、約1時間位で露が取り除かれ、正常な動作をするようになります。

各部のなまえ

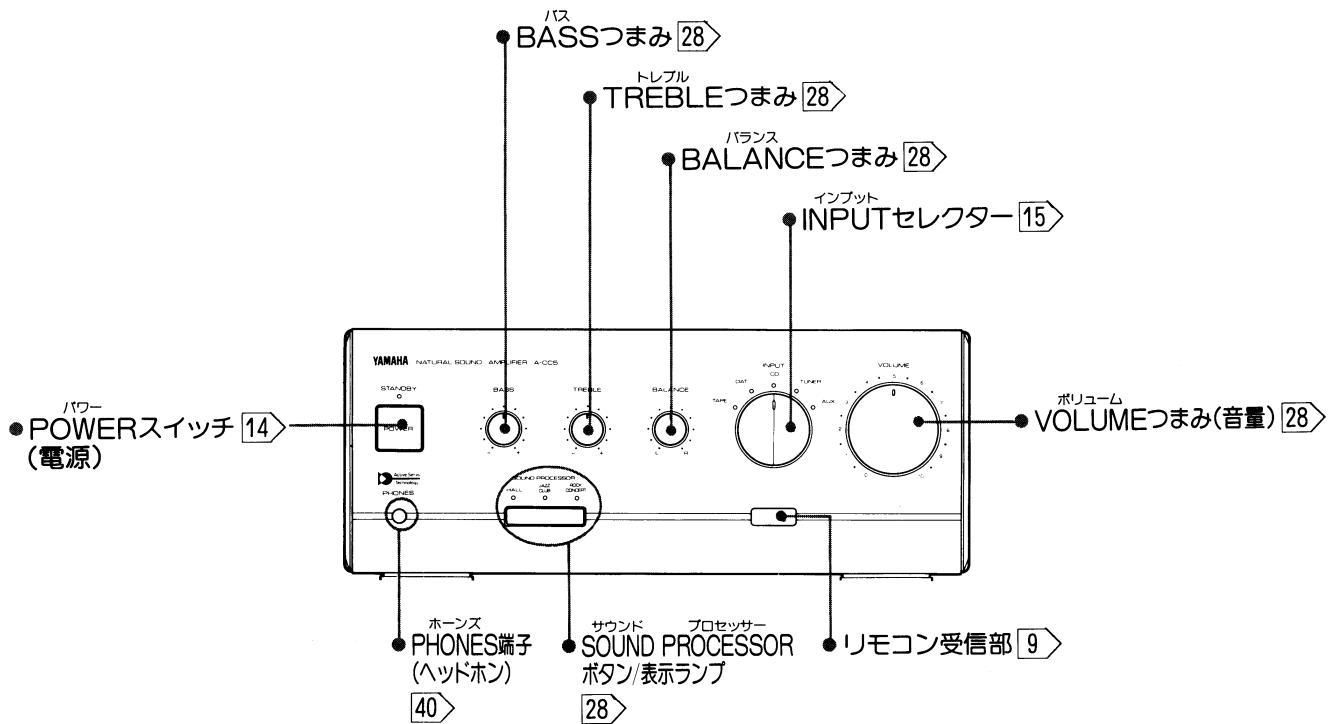
チューナー/CD部



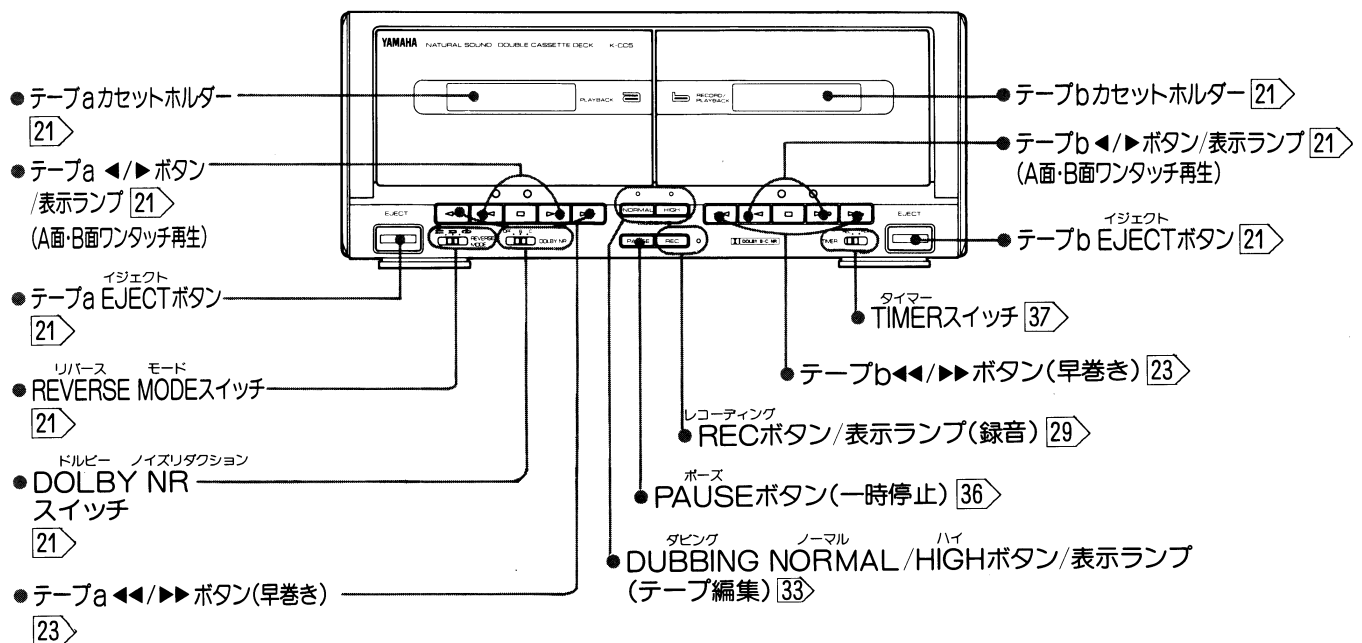
□ 内の番号は、本文で説明しているおもなページです。



アンプ部



デッキ部



各部のなまえ

チューナー/CD部背面

- システム接続ケーブル

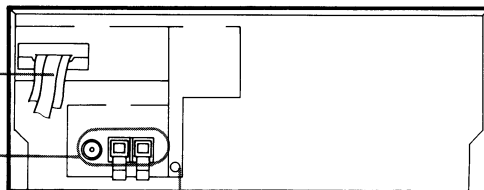
11

- アンテナ端子

11

- メモリーリセットボタン

43



アンプ部背面

- オグシリアリー AUX (補助入力) 端子

40

- デジタルオーディオテープ DAT 入力端子

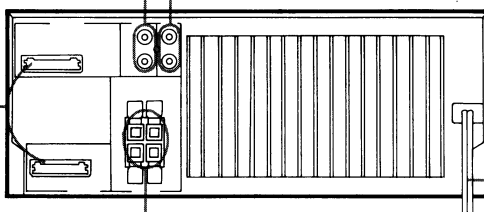
40

- システム接続端子

11

- スピーカー端子

11



- 電源コード

12

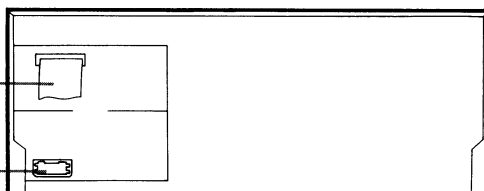
デッキ部背面

- システム接続ケーブル

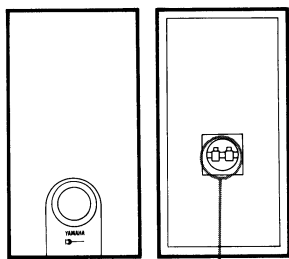
11

- システム接続端子

11



スピーカー部

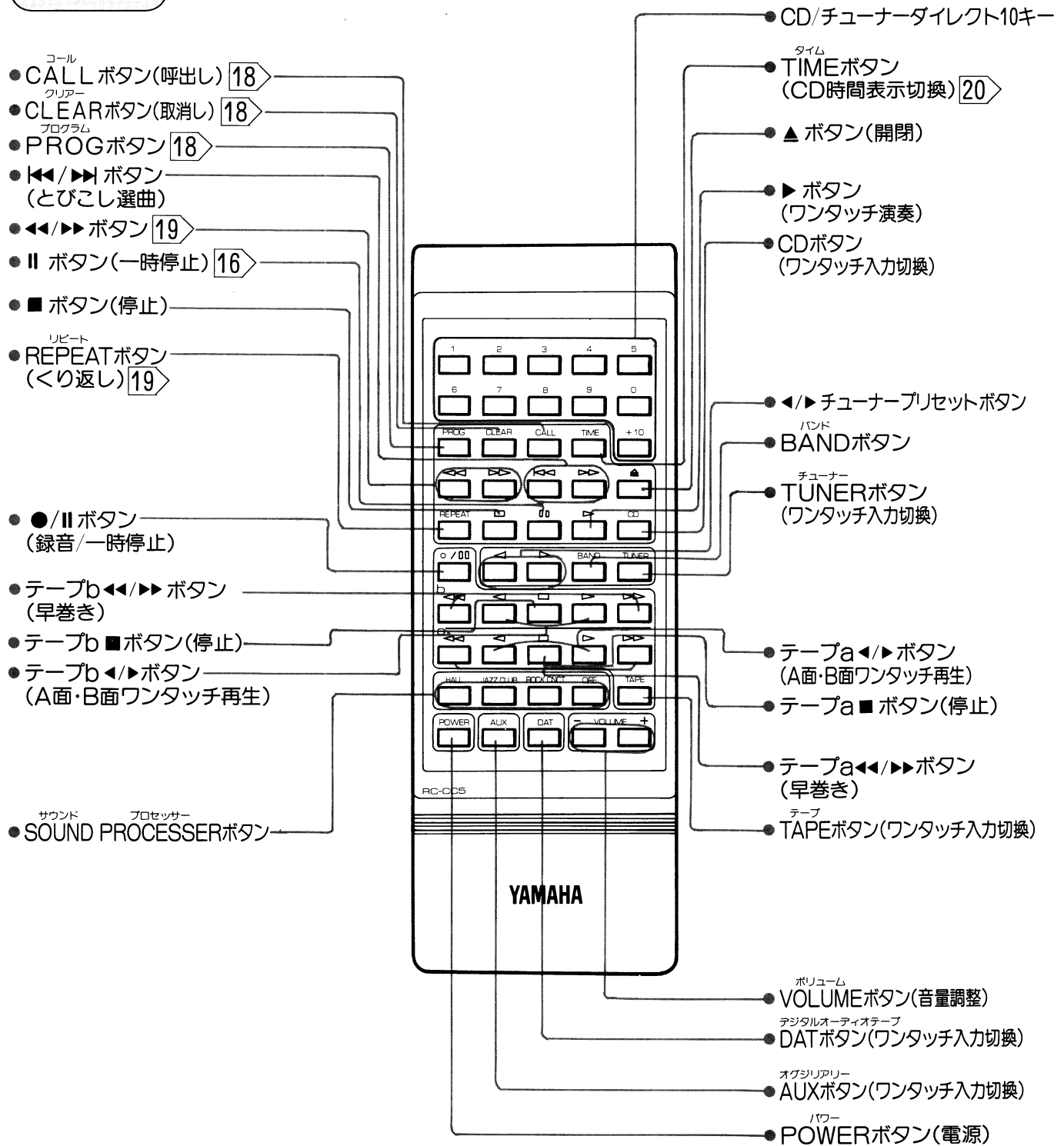


- スピーカー端子

お願い

- スピーカーは防磁タイプではありませんので、テレビにあまり近づけないでください。テレビの画面が色ズレなどを起こすことがあります。
- 重低音用ダクトの中に異物を入れたり、細長い棒を差し込んだりしないでください。
- 万一、異物が入ったときは、スピーカーコードを抜いて販売店に連絡してください。

リモコン

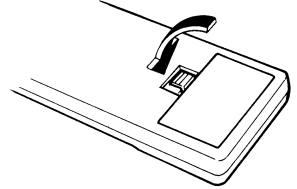
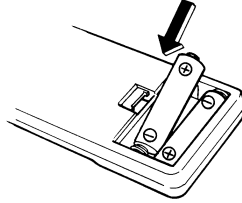
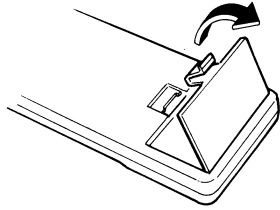


各部のなまえ

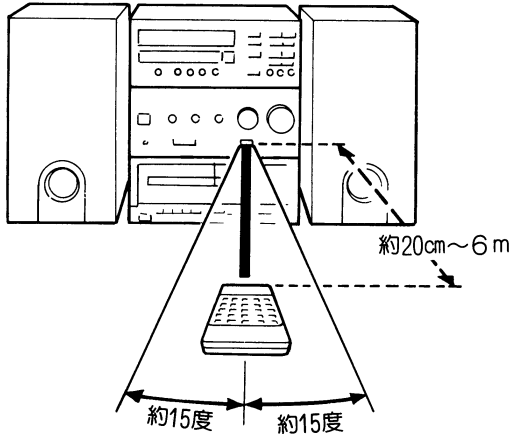
リモコンについて

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたをはずす。 2 単3乾電池(2個)を入れる。 3 裏ぶたを戻す。



リモコンの使用範囲



リモコン取扱上のご注意

- 受信部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。
- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらした温度の高い所には置かないでください。
- 受信部に直射日光や強い照明(インバーター蛍光灯など)が当たっているとリモコンが働きにくくなります。照明または製品本体の向きを変えてください。
- 他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作をしないことがあります。
- 他社の機器が同時に動作してしまうことがあります。

●リモコン用乾電池の交換時期

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年間です。
リモコン受信部に近よらないと動作をしない場合は、乾電池を交換してください。

乾電池のご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれや破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

1. 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示どおり正しく入れてください。
2. 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
3. 種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも電圧の異なるものがあります。
4. 乾電池が使えなくなったり、この製品を長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。
5. 電池には充電式と充電式でないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
6. 液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

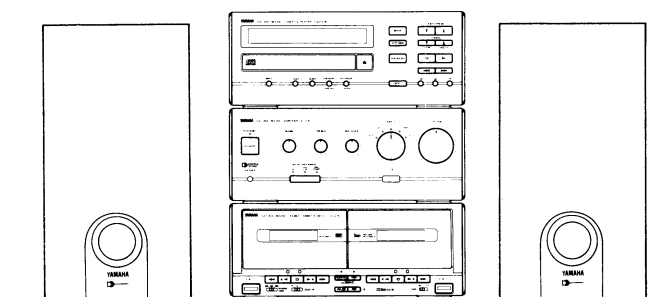
お使いになる前の準備

接続上のご注意

- コードは決められたとおりに接続してください。
- 各接続コードやプラグは最後までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、雑音がでたり、スピーカーをいためる原因になります。
- スピーカーコードの⊕(プラス)、⊖(マイナス)をまちがえないようにつないでください。
- この製品はアクティブ・サーボ・テクノロジーシステムを搭載していますので付属のスピーカー以外は使用しないでください。(他のスピーカーを使用した場合、故障の原因となります)
- 接続がすべて終わったあと、電源コードをコンセントに差し込んでください。

置きかた

左スピーカー チューナー/CD部 右スピーカー



アンプ部
デッキ部

設置上のご注意

- ラックなどに入れるときは、放熱を良くするため製品の天面は3cm、背面は10cm以上のすきまをあけてください。

お使いになる前の準備

ドルビーNRについて

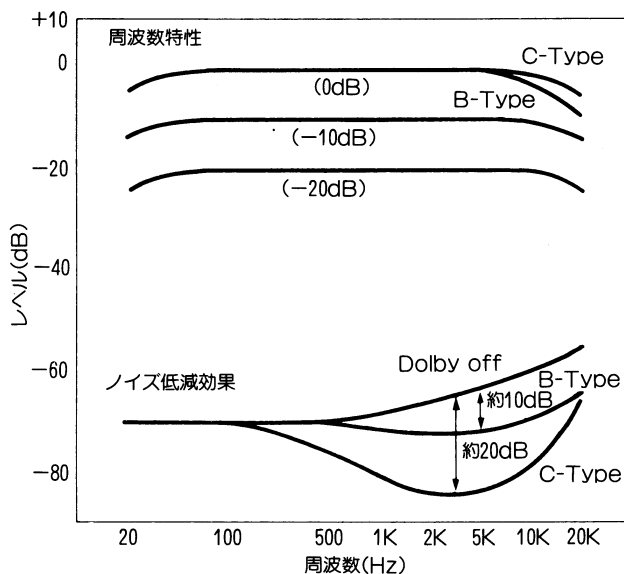
カセットテープの場合、聴感上、高域でのテープのヒスノイズが主な雑音源になります。このヒスノイズを減らすため、ドルビーB NRとドルビーC NRを切り換えて使用することができます。

ドルビーB NRでは、高域周波数において約10dBの改善効果があります。ドルビーC NRでは、人間の耳が最も敏感な帯域(2kHz~8kHz)で約20dBの改善効果が得られます。右図は、ドルビーB NRとドルビーC NRで録音・再生したときの周波数特性とノイズ低減効果を表わしたものです。ドルビーC NRの場合、ドルビーB NRに比べノイズはさらに低減され、約20dBの改善効果があることがわかります。なお、ドルビーNRシステムは、録音・再生両過程を通じてノイズを低減しますので、再生時にはDOLBY NRスイッチは必ず録音時と同じ状態にしてください。

DOLBY B・C NR

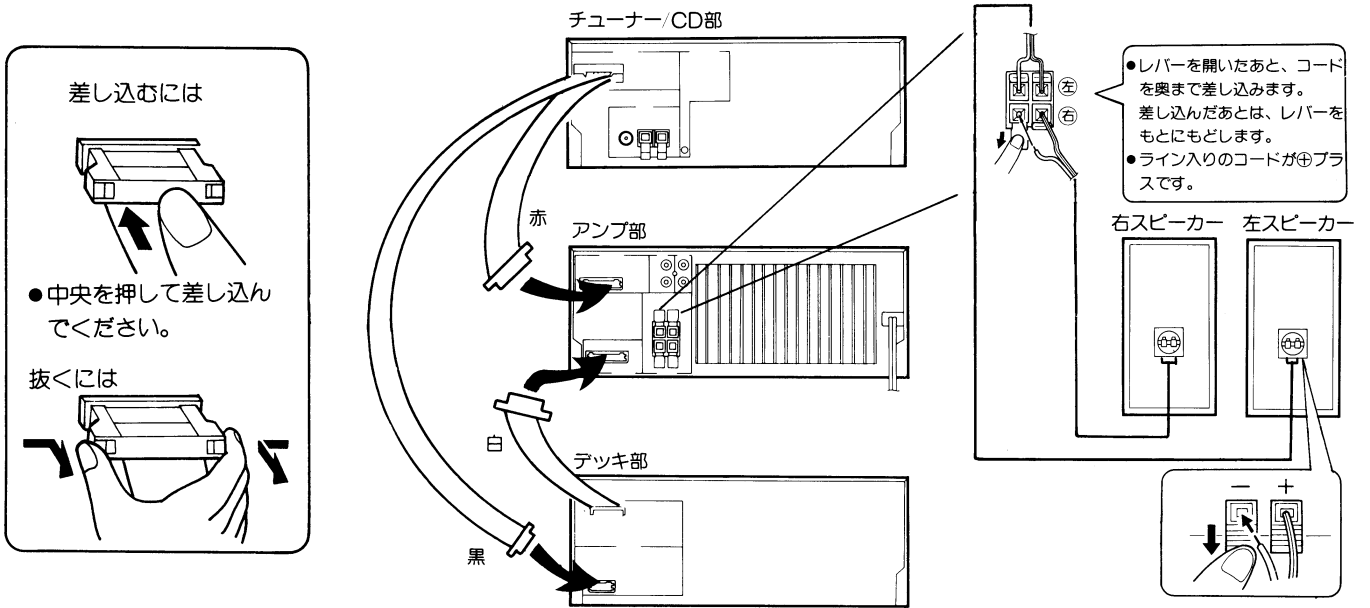
ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの登録商標です。

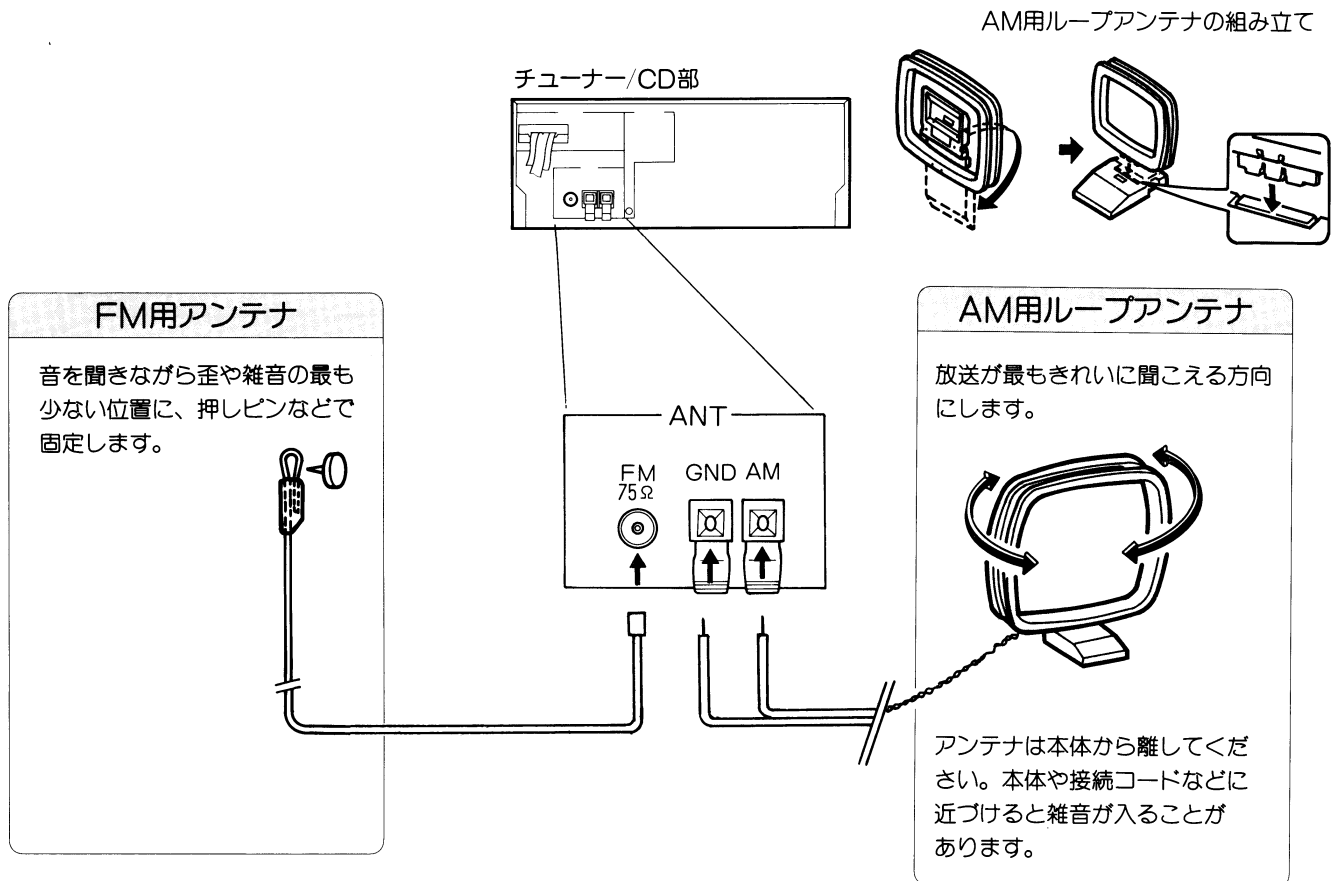


お使いになる前の準備

システムの機器とスピーカーの接続



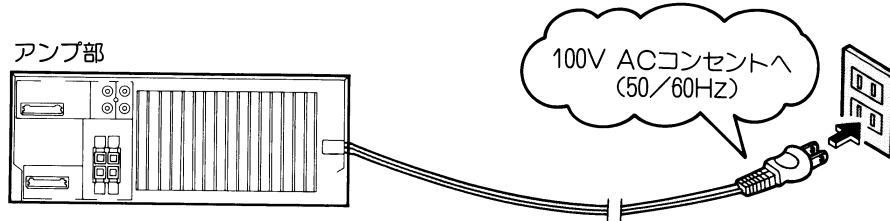
付属アンテナの接続



お使いになる前の準備

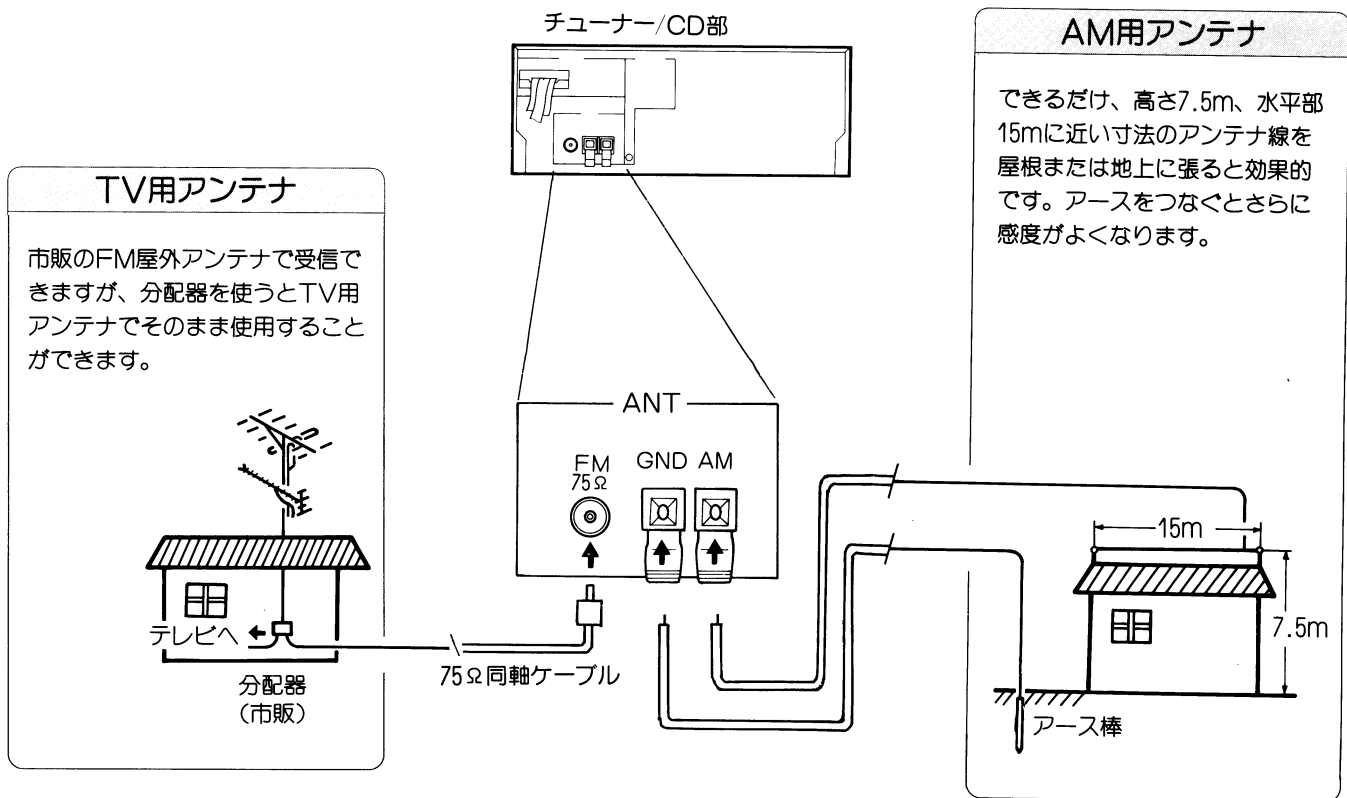
電源コードの接続

各接続が終わったあと、電源コードをつなぎます。



屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使います。
(屋外アンテナのつなぎかたなど、くわしくは販売店におたずねください。)



お使いになる前の準備

■屋外アンテナを立てる場所について

- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。ビルや山のかげなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 送電線の下には立てないでください。送電線にアンテナが触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路からはなれた所、またはそれらが見えない所に立てるようにしてください。
- 落雷のおそれがありますのであまり高い所には立てないでください。

■アース棒について

アース棒を地中に埋めるか、または、鉛製の水道管につなぎます。ガス管につなぐのは危険ですので、つながないでください。

CDやテープについて



コンパクトディスクについて



取り扱いについて

- 必ず右のマークが入っているコンパクトディスクをお使いください。
- 演奏面は、文字のある反対の面になります。演奏面に触れないでください。
- 必ずふちを持ってください。
- 文字のある面に硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。信号をそこないますので、演奏面と同様にキズをつけられないよう注意してください。



保管場所のご注意

ほこりやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

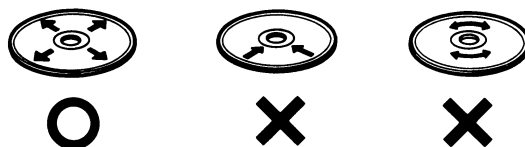
次のような所に置かないでください。

- 直射日光が長時間あたる所。(特に密閉した自動車内等)
- 暖房器具の近く。
- ほこりや湿気の多い所。

お手入れのしかた

指紋やほこりなど汚れがつくと、雑音や音とびの原因になります。汚れがついたときは、やわらかい布で、中央からふちの方向にまっすぐに軽くふきとってください。

- 矢印と反対の方向にふいたり、普通のレコードのようにまわしながらふいたりしないでください。



- 次のものは使用しないでください。

- ベンジンやアルコールなどの溶剤
- 研磨材を含むクリーナー
- レコード用のスプレーやクリーナー
- 静電気防止剤

コンパクトディスク

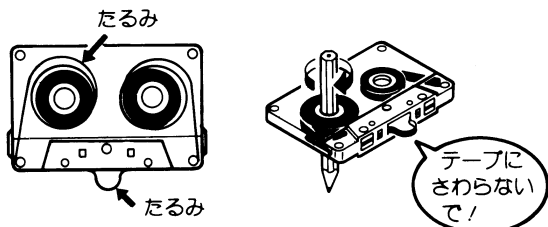


テープについて



取り扱いについて

- C-120テープや一部のリール付デザインテープは薄く伸びやすいためできるだけ使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合がありますので注意してください。
- テープをお使いになる前に、たるみがないか、シワが入っていないか確かめてください。テープのたるみは鉛筆やボールペンなどで巻き取ってください。たるみやシワのあるテープを使うと、テープが切れたり、機械に巻きついたりすることがあります。

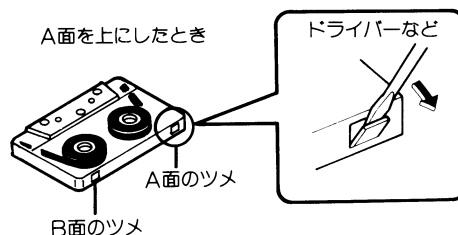


避けてほしい保管場所

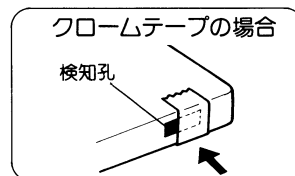
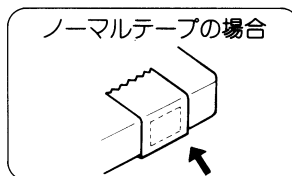
- 直射日光が長時間あたる所。(特に密閉した自動車内等)
- 暖房器具の近く。
- ほこりや湿気の多い所。
- 磁気のある所。(スピーカーの近くやテレビの上など)

大切な録音を誤って消さないために

- テープの消去防止用のツメをおって取りのぞいておくと、録音ができなくなり大切な録音をあやまって消すことがあります。



- もう一度録音したり、録音を消したいときは、ツメをおった部分を、セロファンテープなどでふさぎます。

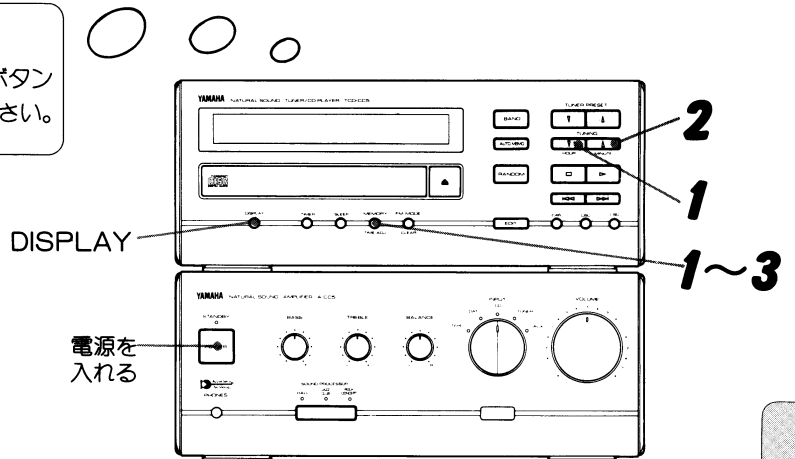


オートテープセレクター機構はテープの検知孔によって判別しますので、クロームテープの穴をふさぐ場合は、ツメがあった部分だけをふさいでください。

メタルテープの場合は再生のみできます。録音には使用できません。(前に録音されている音が消えずに残ってしまいます)

時刻の合わせかた

チューナーの周波数などの表示がディスプレイについているときは、DISPLAYボタンを押して、時刻の表示にしてください。

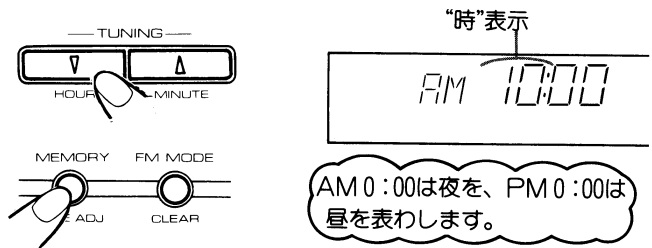


- 電源コードをつなぐとタイマー表示部が“AM 0:00”で点滅します。電源を入れて、つぎの方法で時刻を合わせてください。

(例) 午前10時30分に合わせるとき

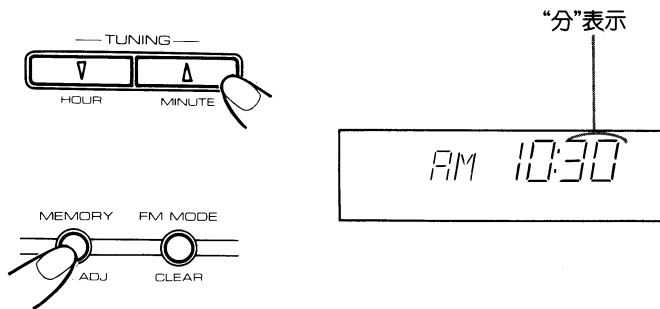
1 タイム アジャスト TIME ADJボタンを押したまま、アワー HOURボタンを押す。

- 1回押すと1時間進みます。
- 押し続けると、連続して進みます。希望の時刻でHOURボタンから指をはなします。



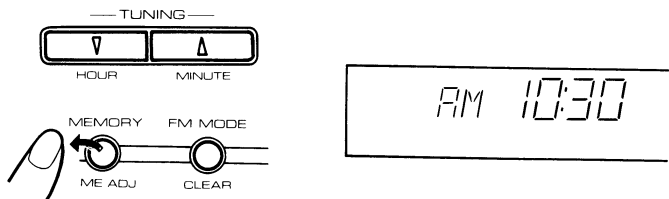
2 タイム アジャスト TIME ADJボタンを押したまま、ミニット MINUTEボタンを押す。

- 1回押すと1分進みます。
- 押し続けると、連続して進みます。希望の時刻でMINUTEボタンから指をはなします。
- “分”設定中は、“59”から“00”になっても時間は変わりません。



3 タイム アジャスト TIME ADJボタンから指をはなす。

- “0”秒から時計が動き始めます。
- 秒まで正しく合わせるときは電話の時報サービス(117番)をご利用になると便利です。(有料)



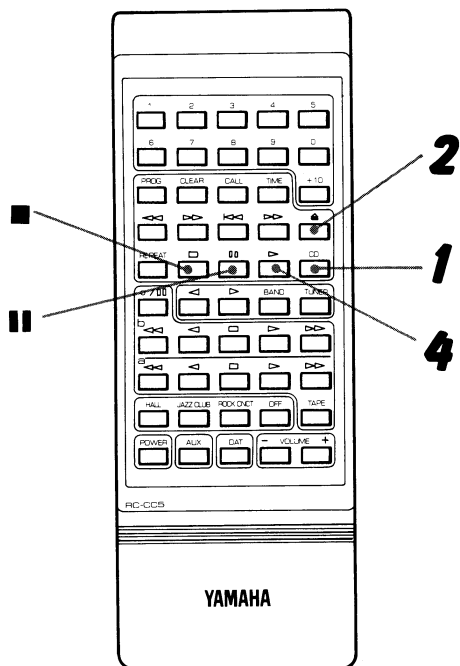
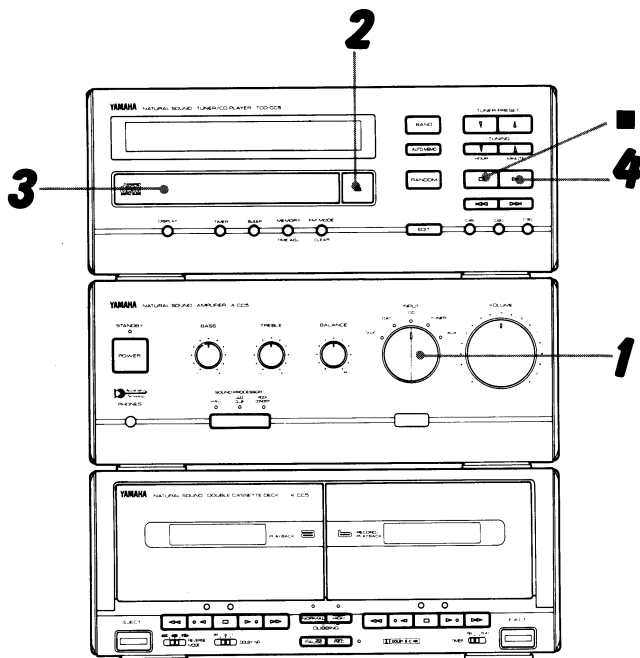
時刻の合わせかた

- 電源コードが抜けたり、停電になると、時計表示が消えます。ふたたび通電すると時計表示は点滅しますので、もう一度時刻を合わせ直してください。
- 次の場合には、インプット INPUTセレクターが、どの位置にあっても自動的にAUXの位置まで動いてからCDの位置で止まりますが、故障ではありません。
 - ご購入後、初めて電源コードをつないで電源を入れたとき。
 - 電源コードを抜いて、ふたたびつないだあと電源を入れたとき。
 - 停電があったあとに電源を入れたとき。

- 時計を設定して動作させないと、タイマーの設定はできません。

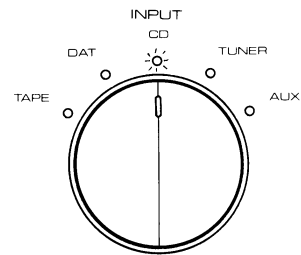
CDを聞くには

1曲目から聞くには



CDを聞くには

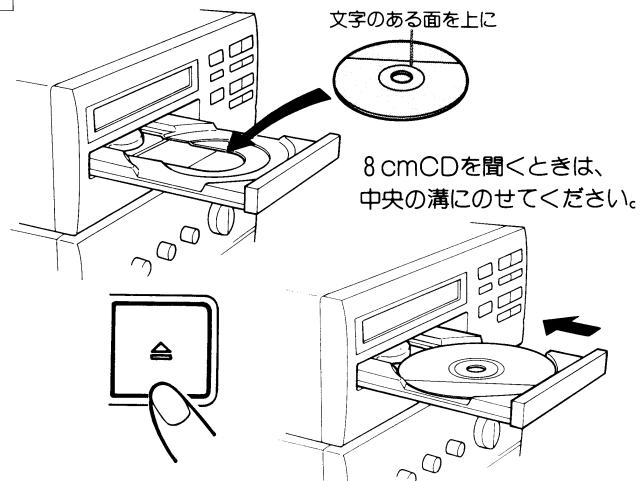
1 INPUTセクターをCDに合わせる。



2 ディスクトレイを開ける。



3 CDを入れてディスクトレイを閉める。



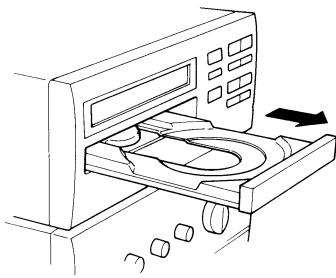
4 ▶ ボタンを押す。



●音量や音質は28ページをごらんの

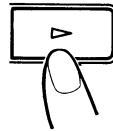


- 電源を入れなくても、▶ ボタンを押すだけで、自動的に電源が入り、入力切り換えもCDになります。

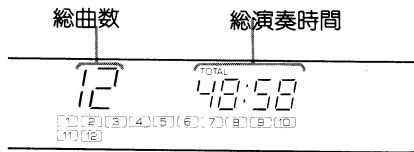


ワンタッチ演奏

CDがディスクトレイに入っていれば、電源を切っている場合でも、CDの演奏を始めることができます。



▶ ボタンを押す。



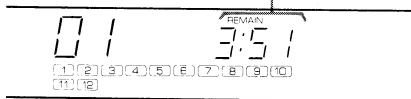
ミュージックカレンダー
(12曲入りの場合)

- 21曲以上入れたCDを入れると“OVER”マークがつきます。

(約4秒後に)



1曲目の演奏時間



演奏を一時的に止めるには

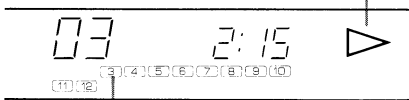
リモコンの||| ボタンを押す。



- 再び演奏を始めるときは、▶ ボタンを押す。

演奏表示

曲ごとの経過時間



3曲目を演奏中

演奏を止めるには



■ ボタンを押す。

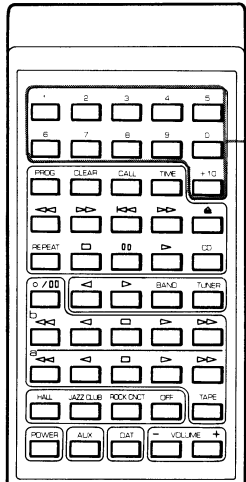
- ミュージックカレンダーは、演奏の終わった曲から消えて行きます。

うえ調整してください。

CDを聞くには

聞きたい曲を聞くには (ダイレクト選曲演奏)

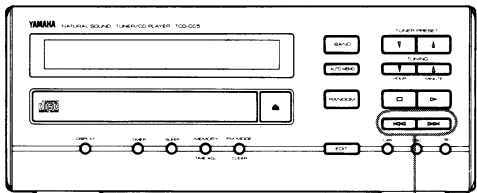
リモコンのみ
操作できます!!



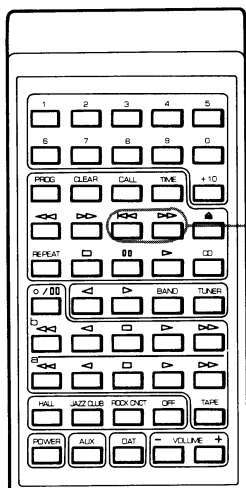
CD/チューナー
ダイレクト10キー

- CDに入っている曲数より大きい曲番を選ぶと
- ディスプレイを閉じていたときは、選曲できません。
- ディスプレイを開いていたときは、ディスプレイが閉じて1曲目から演奏を始めます。

とびこして聞くには (自動頭出し演奏)



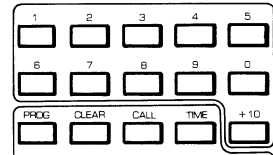
◀◀または▶▶



◀◀または▶▶

- リモコンの10キーを操作することにより、聞きたい曲を演奏することができます。

曲番を選ぶ。

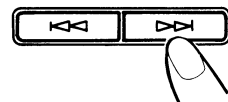


たとえば、20曲目を選ぶときは
 +10 → +10 → 0 と押します。
 (3秒以内に) (3秒以内に)

- 選んだ曲の頭から演奏を始めます。

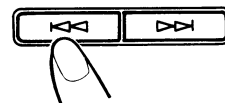
次の曲の頭から聞くには

演奏中に、▶▶ボタンを押す。



演奏中の曲を聞き直すには

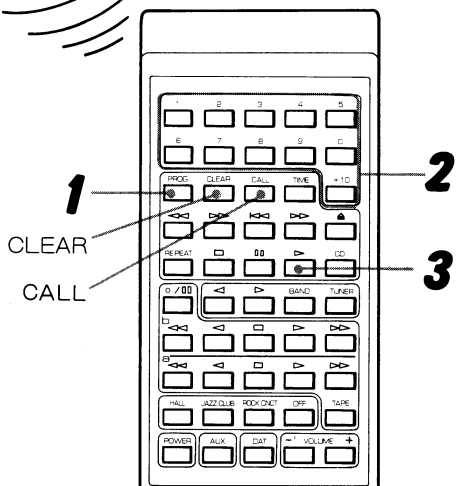
演奏中に、◀◀ボタンを押す。



- くり返して押すと、曲番表示に表示された曲から演奏が始まります。

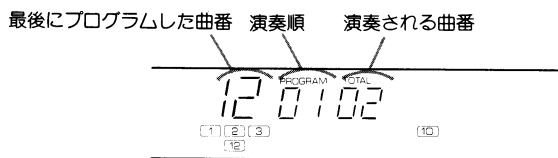
聞きたい曲を聞きたい順に記憶させて聞くには(プログラム選曲演奏)

リモコンのみ操作できます。



演奏の順番を確かめるには

停止中に、^{コール}CALLボタンを押す。
●演奏される順番にCD表示部のミュージックカレンダーが点滅します。

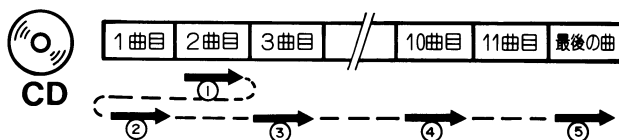


- 演奏中や一時停止中に押すと
- 次に演奏される曲順と曲番が約2秒間表示されます。
- 最後の曲で押すと、“End”が表示されます。

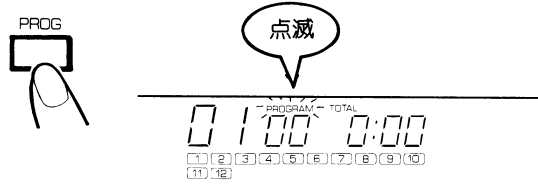
記憶を取り消すには

停止中に(“PROGRAM”が点灯中)、^{プログラム}CLEARボタンを押す。

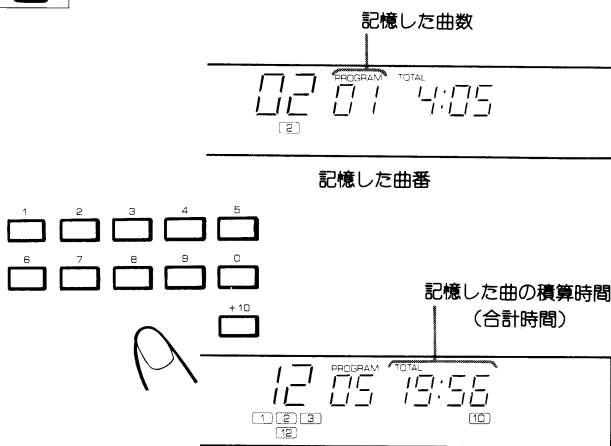
- 選曲した曲がすべて取り消されます。
- 記憶中(“PROGRAM”が点滅中)に^{クリア}CLEARボタンを押すと、最後に記憶した曲だけを取り消すことができます。



1 停止中に、PROGRAMボタンを押す。

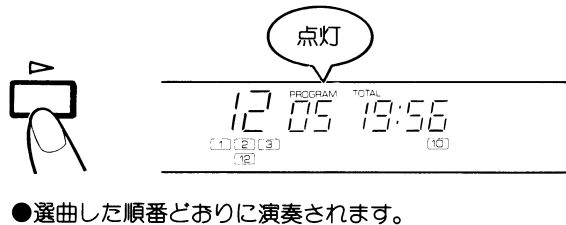


2 曲番を選ぶ。(20曲まで選べます。)



10曲目以上の曲を選ぶときは、“+10”ボタンを使います。
(例、12曲目を選ぶときは)
+10 → 2 と押します。
(3秒以内に)

3 ▶ ボタンを押す。



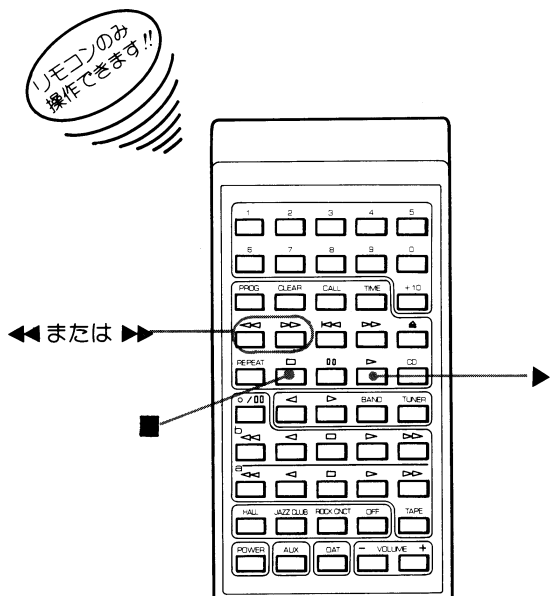
- 選曲した順番どおりに演奏されます。

ご注意

演奏中や一時停止中に曲を記憶させたり、取り消すことはできません。

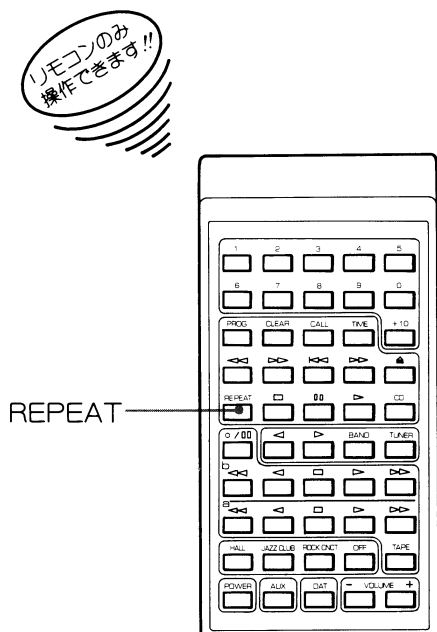
CDを聞くには

聞きたい所をさがすには (早聞き演奏)



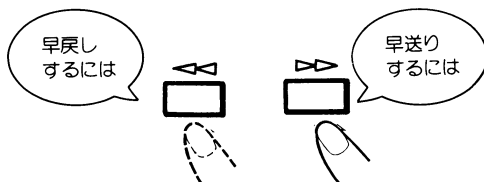
- 早聞き演奏中に最後まで行くと“End”が表示されます。このときは、◀◀ボタンか■ボタンを押してください。
- ランダム演奏中は、早聞き演奏はできません。

くり返して聞くには (くり返し演奏)



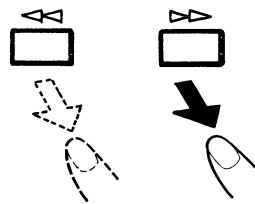
1 演奏中に、

◀◀または▶▶ボタンを押し続ける。

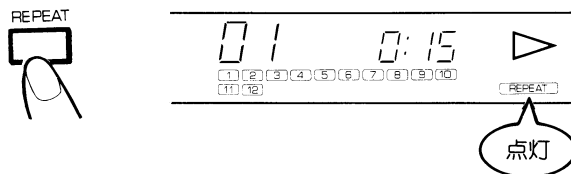


- 早聞き演奏開始後、約2秒間はゆっくり、その後は早く演奏します。

2 聞きたい所で、◀◀または▶▶ボタンから指を離す。

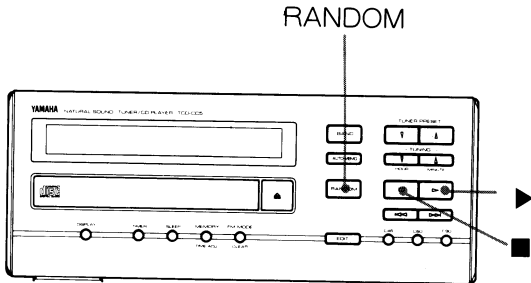


演奏中に、REPEATボタンを押す。

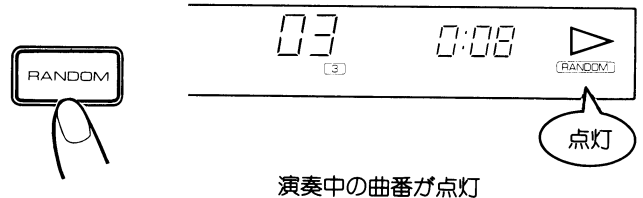


- もう一度押すと、ふつうの演奏に戻ります。
- プログラム選曲演奏中は、記憶した曲だけをくり返します。

順不同で聞くには (ランダム演奏)



ランダム
RANDOMボタンを押す。

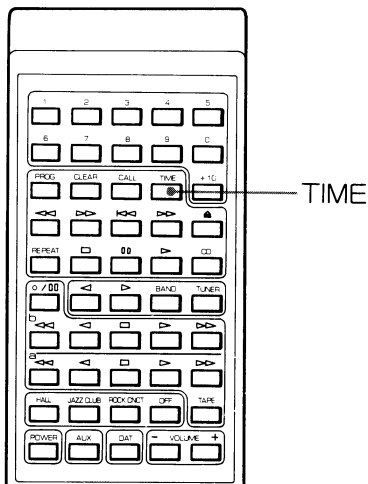


演奏中の曲番が点灯

- ■ボタンを押すまでは、ランダム演奏は続きます。
- ▶ボタンを押すと、ふつうの演奏に戻ります。
- プログラム選曲をすると、ランダム演奏ができません。

演奏時間の表示を 切り換えるには

リモコンのみ
操作できます!!

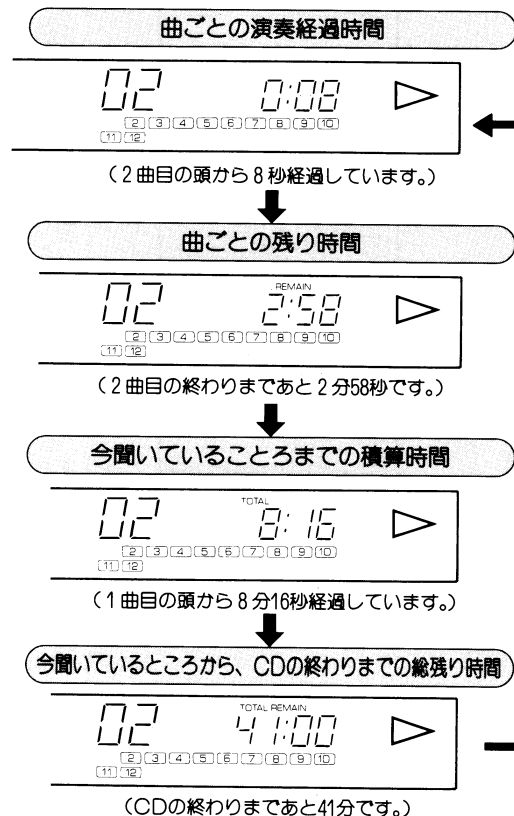


タイム
TIMEボタンを押す。



- ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。

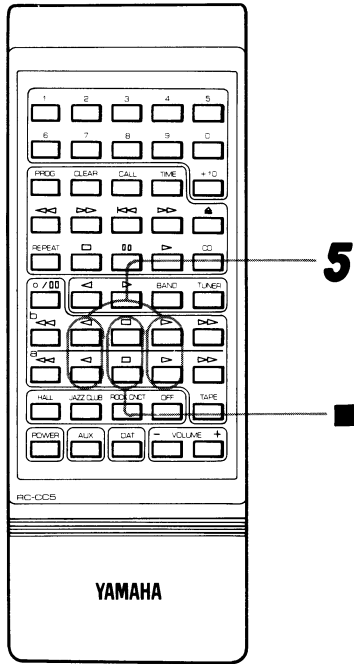
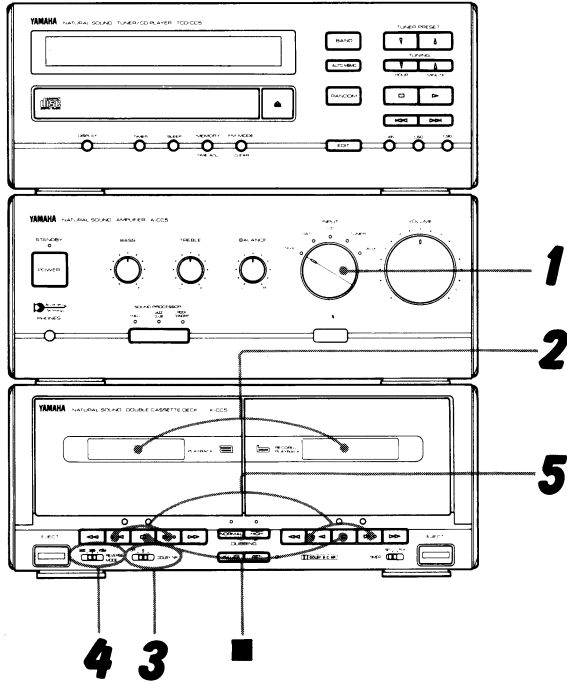
2曲目を演奏しているときの例です。



- ランダム演奏中は表示内容を切り換えることはできません。
- お使いになるCDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に、曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。
- 21曲以上入ったCDをお使いのときは、次のような場合“--|--”が表示されます。
 - ① 停止中、◀◀または▶▶ボタンを押して、21曲目以降の曲番を表示させた場合。
 - ② 21曲目以降を演奏中に、残り時間に切り換えた場合。
 - ③ プログラム選曲で21曲目以降の曲番を記憶した場合。
(記憶した曲の積算時間が100分を超えた場合も、“--|--”が表示されます。)

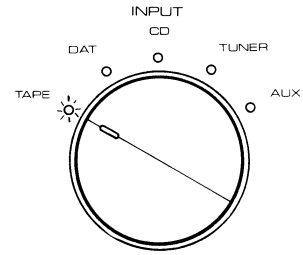
テープを聞くには

TAPE a または TAPE b を使って
ふつうに聞くには

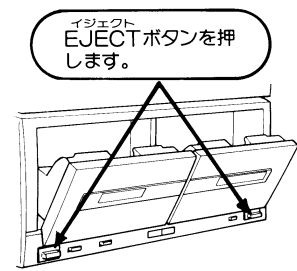


テープを聞くには

1 ^{インプット} INPUTセクターを^{テープ} TAPEに合わせ



2 テープを入れる。



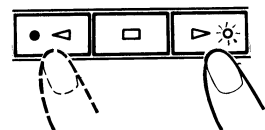
3 ^{ドルビー ノイズリダクション} DOLBY NRスイッチを切り換える。



4 ^{リバース} REVERSE MODE^{モード}を選ぶ。



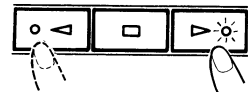
5 聞きたい面のボタンを押す。





る。

ワンタッチ再生



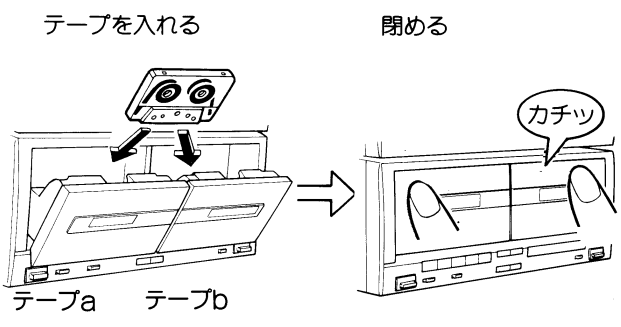
テープが、カセットホルダーに入っていれば、電源を切つても、テープを再生することができます。

聞きたい面のボタンを押す。

テープを止めるには



■ボタンを押す。



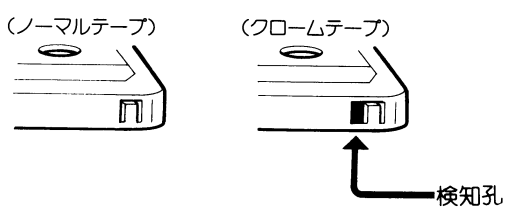
OFF	B	C
ドルビーNR録音されていないテープ	ドルビーB NR録音されているテープ	ドルビーC NR録音されているテープ

片面だけを再生するとき	両面を1回だけ再生するとき	両面をくり返して再生するとき

B面（反対の面）を再生するとき	A面（手前の面）を再生するとき

◆オートテープセレクター機構について◆

テープの検知孔によって、ノーマルテープ、クロームテープを自動的に判別するようになっています。



メタルテープの場合は再生のみできます。録音には使用できません。（前に録音されている音が消えずに残ってしまいます。）

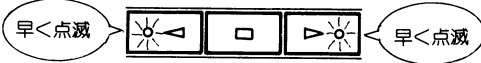
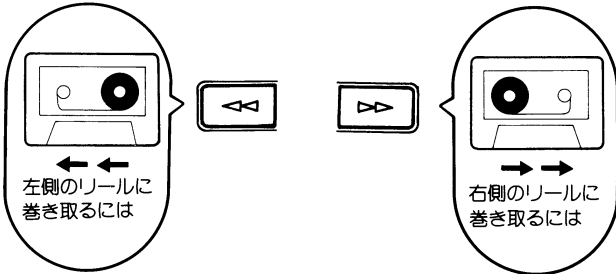
テープを聞くには

【ご注意】 カセットテープを取り出すときは、■ボタンを押して停止状態にして、EJECTボタンを押してください。

テープを聞くには

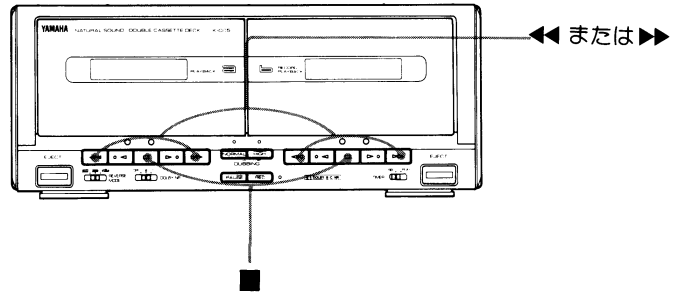
テープを早く巻き取るには

◀◀または▶▶ボタンを押す。



- 早巻き方向のPLAY表示ランプが早く点滅します。
- お望みのところまで巻き取ったら■ボタンを押す。

停止中に

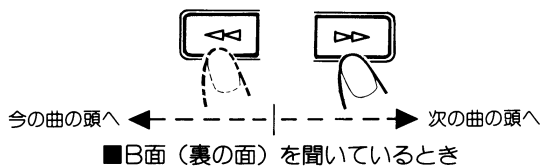


テープを聞くには

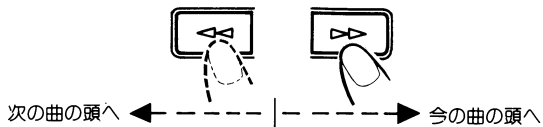
曲の頭出しをするには (自動頭出し演奏)

◀◀または▶▶ボタンを押す。

■A面(手前の面)を聞いているとき



■B面(裏の面)を聞いているとき



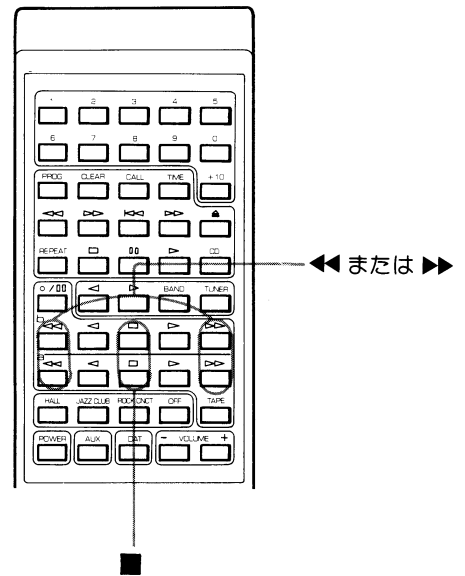
- 頭出しをする方向のPLAY表示ランプがゆっくり点滅します。

自動頭出し演奏が正しく動作をしないのは?

次のようなテープを使うと、自動頭出し演奏が正しく動作をしないことがあります。

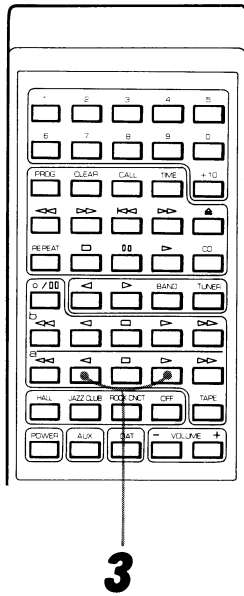
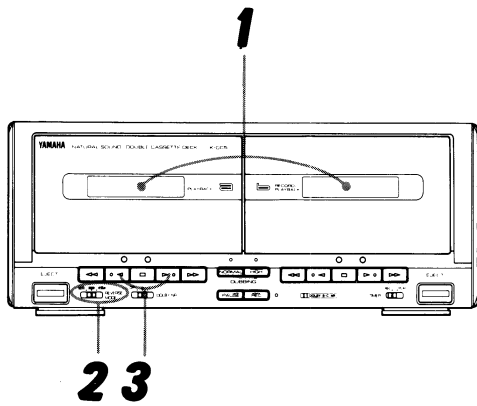
- 録音レベルが低すぎたり(音が小さい)、会話など音声とぎれているとき。
- テープの曲間(無音部)が3秒以下のとき。

再生中に

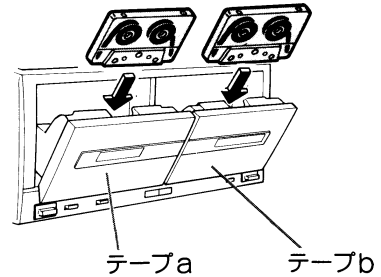


- 音が非常に小さい部分が長く続く曲や、演奏や歌声が全く入っていない部分があるとき。
 - 曲間に大きな雑音が録音されているとき。
- ※曲の始めの部分や終わりの部分で頭出しすると、1つ目の無録音部分でテープが止まらないことがあります。

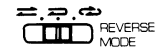
テープaとテープbを
連続して聞くには



1 両方にテープを入れる。

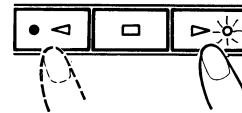


2 ^{リバース} ^{モード} REVERSE MODEスイッチを切り換える。



● "↔" の位置では、連続再生できません。

3 まず、聞きたい面のボタンを押す。



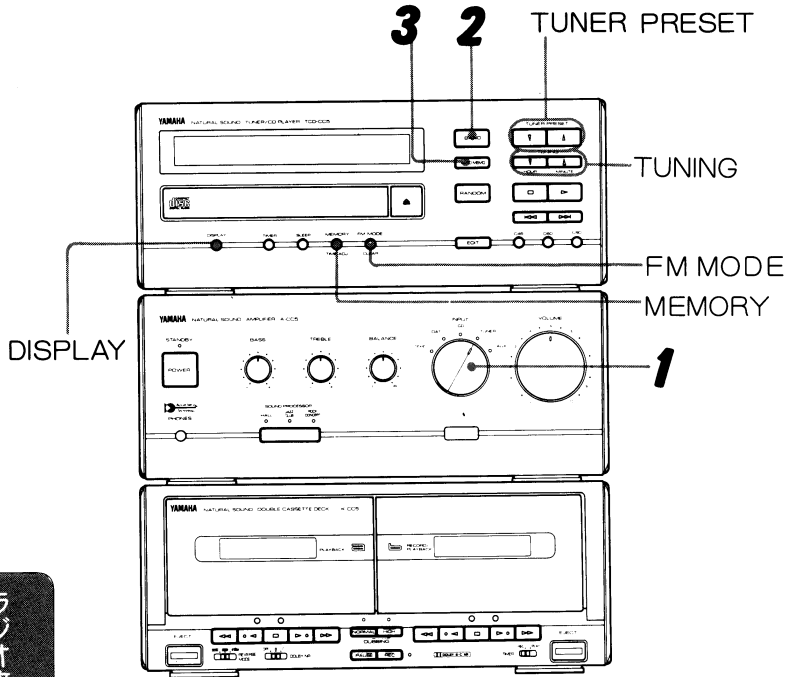
テープを聞くには

● REVERSE MODEスイッチの位置や再生を始める面によって、次のように連続再生します。

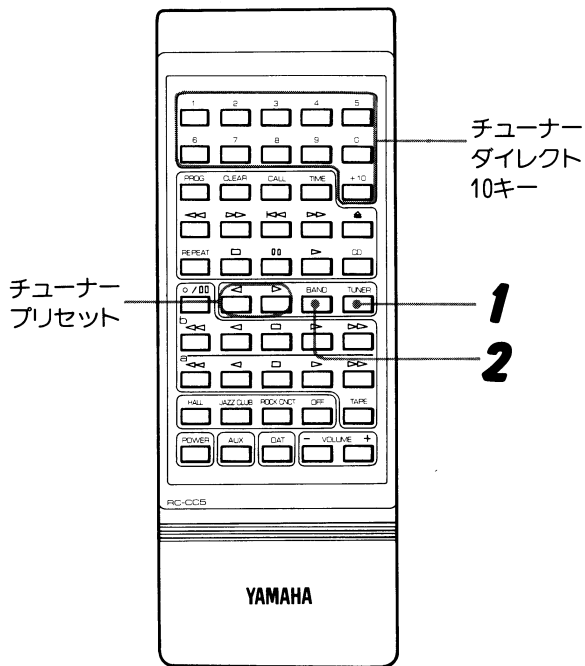
ボタン操作	スイッチの位置	
	↩	↻
	テープa (A面) → テープa (B面) → テープb (A面) → テープb (B面) → 停止	テープa (A面) → テープa (B面) → テープb (A面) → テープb (B面) → くり返し再生
	テープa (B面) → テープb (A面) → テープb (B面) → 停止	テープa (B面) → テープb (A面) → テープb (B面) → テープa (A面) → くり返し再生

ラジオ放送を聞くには

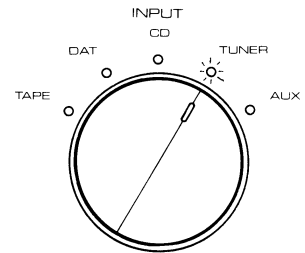
放送局を記憶させるには
(オートメモリー)



ラジオ放送を聞くには



1 ^{インプット} INPUTセクターを^{チューナー} TUNERに合わせる。



2 希望のバンドを選ぶ。



3 ^{オート} AUTO ^{メモリー} MEMOボタンを押



長時間の停電になると

記憶した内容は、すべて消えます。ふたたび通電したあとに、もう一度記憶し直してください。

(3時間程度の停電では、記憶した内容は消えません。)



AM放送を10局、
FM放送を10局、
合計20局記憶する
ことができます。

時刻表示がついているときは、
ディスプレイ
DISPLAYボタンを押して、
周波数の表示にしてください。

手で記憶させるには (マニュアルメモリー)

オートメモリーで、電波が弱くて記憶されないときや電波が強すぎて周波数がずれるとき、または、記憶内容の一部を変えたいときは、次の操作をしてください。

- 1 セレクターをTUNERに合わせる。
- 2 BANDボタンで希望のバンドを選ぶ。
- 3 TUNINGボタンで希望の放送局を選ぶ。

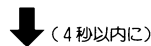
自動同調

0.5秒以上押し続けてボタンから指を離すと、初めの放送局を受信して自動的に止まります。

手動同調

こざざみに押して、周波数表示を放送局の周波数に合わせる。

- 4 MEMORYボタンを押す。



- 5 TUNER PRESETボタンやリモコンのチューナーダイレクト10キーで記憶させたい番号を選ぶ。

- ボタンを押すたびに表示がAM→FM→AM……と切り換わります。

す。

- 周波数の低い方から順番に記憶します。
- FM10局、AM10局まで記憶します。
- FM10局、AM10局まで記憶が終わると、MEMORYの点滅が消えて、最後に記憶された放送局が聞こえます。
- FM10局、AM10局記憶されなかったときは、最大周波数(FMのときは90MHz、AMのときは1,629kHz)の所で止まり、受信状態になります。
- 放送局を記憶させたあと、もう一度オートメモリーさせると、先に記憶されている局は消えます。

ご注意

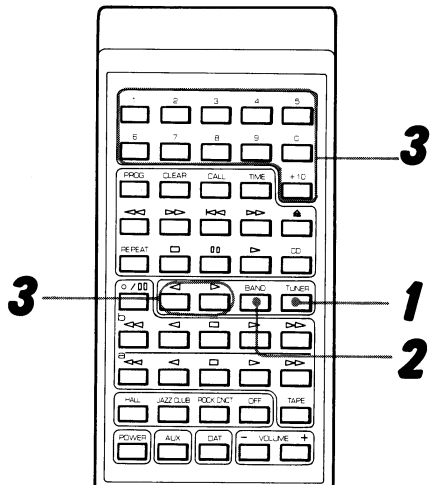
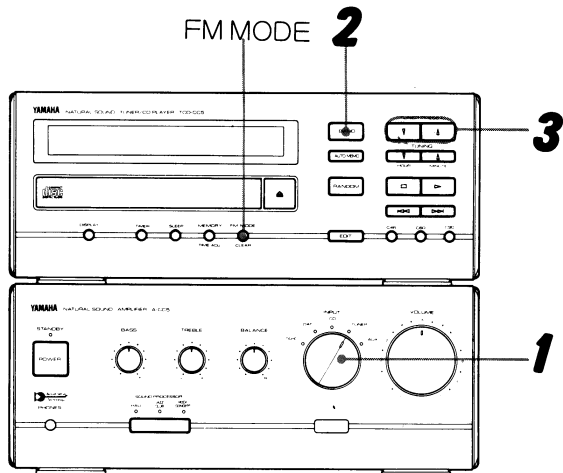
- オートメモリーや自動同調しているときに、周囲に妨害電波があると、そこで自動停止することがあります。このようなときは、マニュアルメモリーで記憶させてください。

お知らせ

- FM放送を記憶させるときは、FM MODE ボタンを使ってステレオ/モノラルを設定することができます。記憶させていない番号に、ステレオモードを記憶しておけば、“ザー”という雑音がなくなります。

ラジオ放送を聞くには

記憶した放送局を呼び出すには



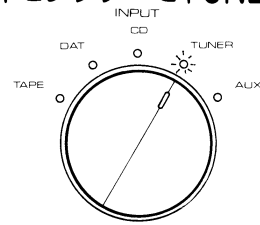
ラジオ放送を聞くには

ご注意

- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。
- コンピューターやワープロなどのデジタル機器の近くでラジオ放送やテレビ音声を受信すると、雑音が入ることがあります。このようなときは、この製品をその場所から離してください。

あらかじめ、「放送局を記憶させるには」の説明をごらんになり、放送局を記憶させておいてください。
(記憶させないと、呼び出すことはできません。)

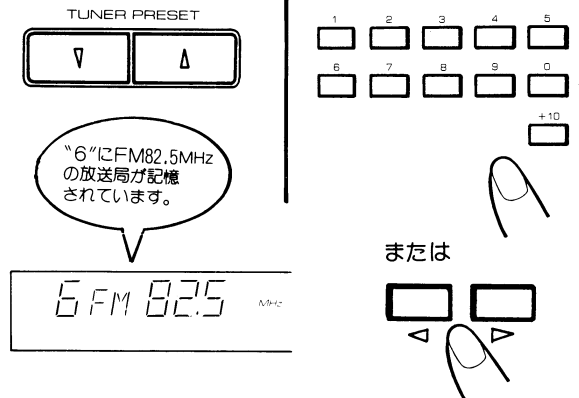
1 INPUTセレクターをTUNERに合わせる。



2 希望のバンドを選ぶ。



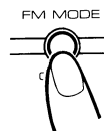
3 記憶させた番号を選ぶ。



- 音量や音質は次ページをごらんのうえ調整してください。

FMステレオ放送を聞くには

FM MODEボタンを押して“AUTO ST”を点灯させます。



FMステレオ放送を受信すると点灯します。

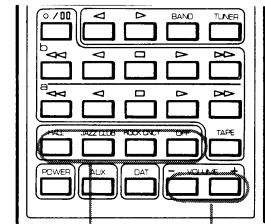
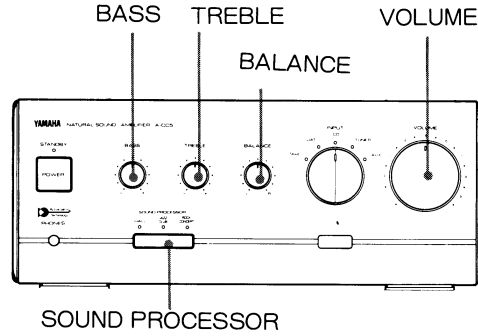
AUTO ST
STEREO

- 電波が弱いつかないことがあります。

音量や音質を調整するには

この製品には、いろいろな音場効果を楽しむため、**BASS**、**TREBLE** のトーンコントロールと **SOUND PROCESSOR** を搭載しています。これらをいろいろと組み合わせてください。いろいろな音場効果が楽しめます。

アクティブ・サーボ・テクノロジーシステムとはスピーカーの動作を直接制御して、駆動力や制御力を大幅に向上させるアクティブサーボプロセッシングアンプを内蔵し、専用のアクティブサーボプロセッシングスピーカーにより、小型ながら伸びやかで歪みの少ない、迫力ある重低音再生とクリアな音質を実現したモデルです。



音量を変えるには

- デジタル録音されているCDは、音の強さの変化範囲が広がっています。小さい音から大きい音に急激に変化する音楽などを大きな音量(最大付近)で長時間聞くと、スピーカーを破損する恐れがありますので、アンプの音量設定に注意してご使用ください。

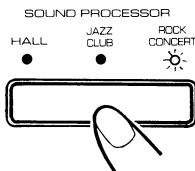
本体
VOLUMEつまみを回す。
リモコン
VOLUMEボタンの“+”
または“-”を押す。



音量や音質を調整するのは

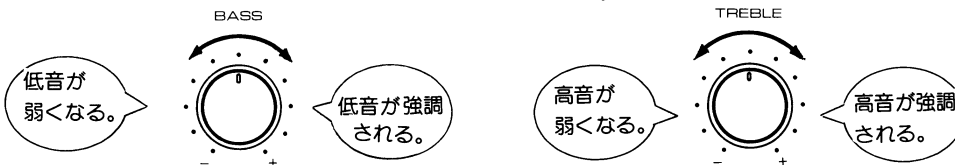
音質を調整するには

- 音楽ソースに合わせて、**SOUND PROCESSOR** ボタンを押し、表示ランプを点灯させます。押すたびにモードが切り換わります。



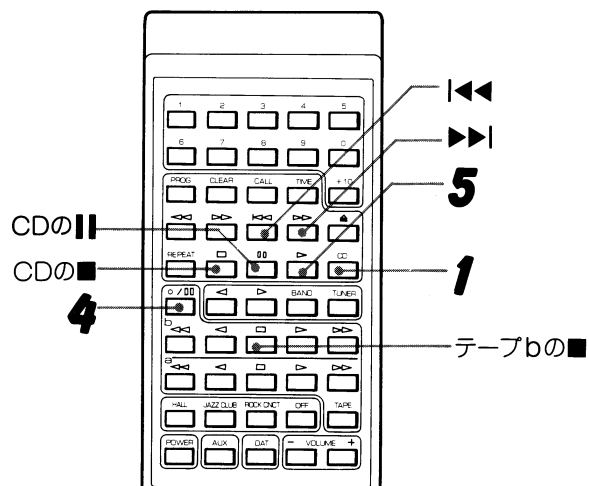
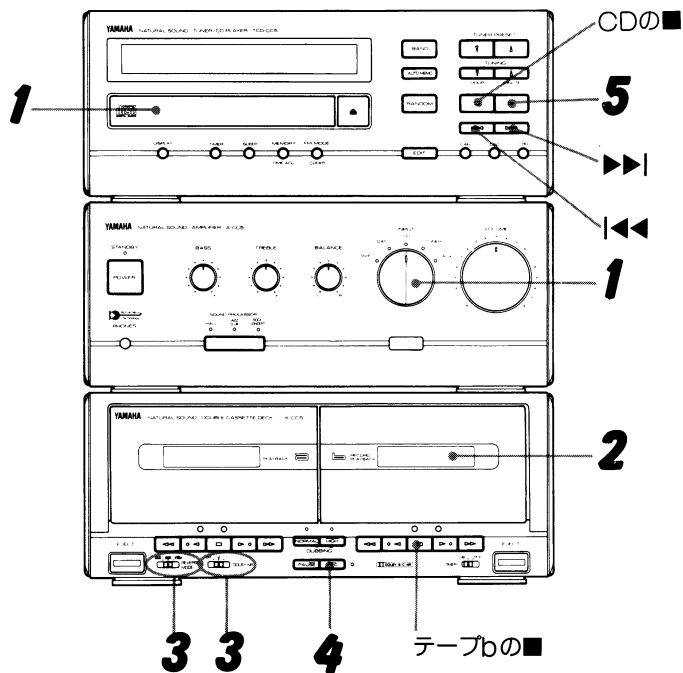
OFF	表示ランプが全て消灯し、効果はなくなります。
HALL	コンサートホールの臨場感を出したいときや、クラシック音楽を再生するとき。
JAZZ CLUB	中域のレベルを増して、管弦楽器、さらにボーカル等をリアルに再生したいとき。
ROCK CONCERT	ロックコンサートでのライブ感や、メリハリの効いたサウンドを再生したいとき。

- BASS**つまみ、**TREBLE**つまみで音質を調整します。



CDから録音するには

ふつうに録音するには

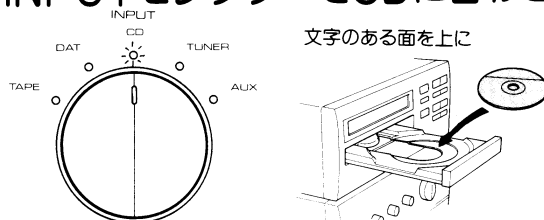


CDからの録音のやり方

お知らせ

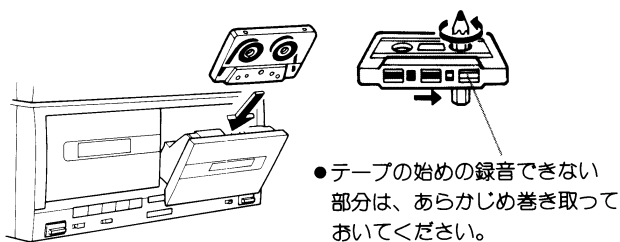
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(45ページ参照)
- 大切な録音をされる前に、あらかじめ試し録音で間違いなく録音されることを確かめましょう。
- 録音レベル(音量)は、自動録音レベル回路によって、自動的に調整されます。

1 INPUTセクターをCDに合わせて、



- 電源を入れなくても、CDの▶ ボタンを押すだけで、自動的に電源が入り、入力切り換えもCDになります。

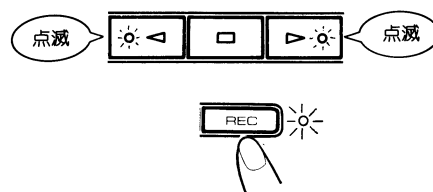
2 テープbに録音用テープを



3 DOLBY NRとREVERSE

	ドルビー DOLBY NR	ノイズリダクション OFF	リバース B	C
	OFF B C	ドルビー-NR 録音しない とき	ドルビー-B NR録音する とき	ドルビー-C NR録音する とき

4 REC ボタンを押す。



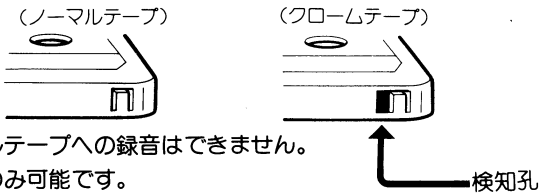
5 CDの▶ ボタンを押す。



録音したいCDを入れる。

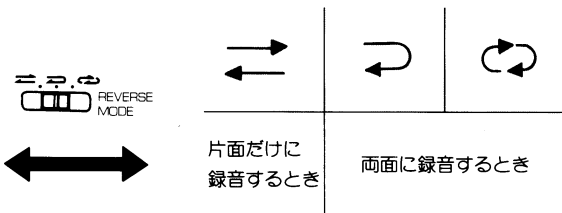
入れる。

◆オートテープセレクト機構について◆
テープの検知孔によって、ノーマルテープ、クロームテープを自動的に判別するようになっています。



メタルテープへの録音はできません。
再生のみ可能です。

モード
MODEスイッチを切り換える。



片面だけに
録音するとき

両面に録音するとき

●録音の待機状態になります。

●CDの演奏が始まる少し前に、テープのA面から録音が
始まります。

録音を一時的に止めるには

リモコンでCDの■ボタンを押す。



(同時にテープも止まり録音の待機状態になります。)

- 再び録音を始めたいときは、CDの▶ボタンを押す。

CDを途中で入れかえて録音するには

- 1 録音中にCDの■ボタンを押す。
 - 約2秒後にテープも止まり、録音の待機状態になります。
- 2 CDを入れかえて、つぎに録音したい曲を選ぶ。
 - CDの◀◀または▶▶ボタンを使います。
- 3 CDの▶ボタンを押す。
 - ふたたび録音が始まります。

CDをプログラム選曲演奏やランダム演奏の状態にしても、録音することができます。このとき、次の曲の頭出しに2秒以上の時間がかかるときは、テープが自動的に一時停止します。曲の頭を見つけると再び録音が始まります。

録音を止めるには



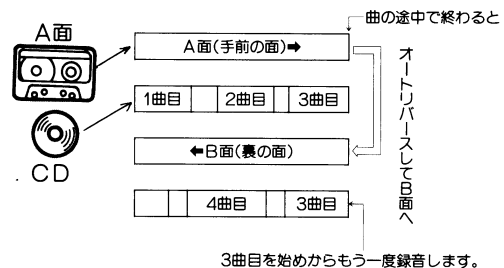
テープの■ボタンを押す。

- CDの演奏を止めるには、CDの■ボタンを押す。

オート・リスタート機能について

テープの両面に続けて録音するとき、A面の最後の曲の途中で終わっても、B面は自動的にその曲の頭から録音を始めます。したがってB面の頭が曲切れしないで録音することができます。

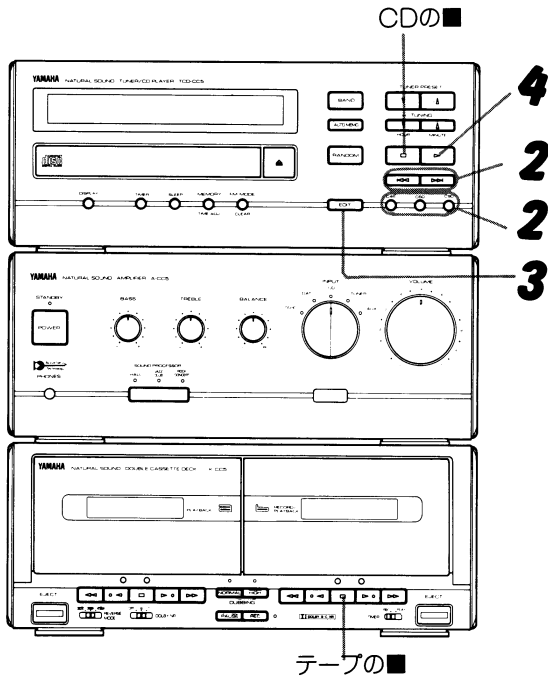
(例：テープのA面に3曲目が入りきらなかったとき)



3曲目を始めからもう一度録音します。

CDから録音するには

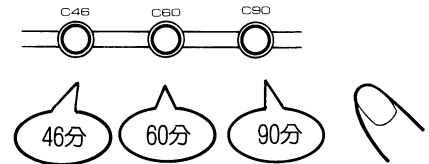
CDからテープのA面・B面へ自動的に編集するには(オートエディット機能)



1 録音の準備をする。

29~30ページの1~4番の操作する。

2 テープの長さを選ぶ。



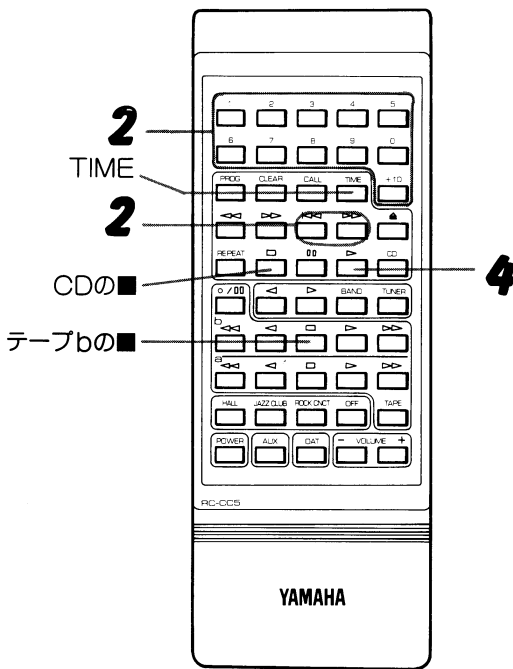
3 ^{エディット} EDITボタンを押す。



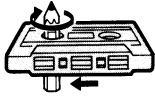
4 CDの▶ボタンを押す。



CDから録音するには



- REVERSE MODEスイッチは“**リバー**”の位置にしてください。



テープは左側いっぱい
巻き戻してください。

- C46、C60、C90以外のテープを使うときは、一番近いテープの長さを選んだあと、時間を合わせます。(最小10分～最大99分)

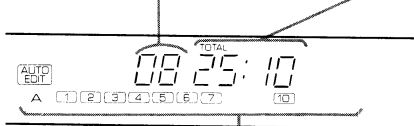


- リモコンのCDダイレクト10キーでも設定できます。

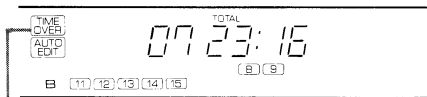
(例) C30のテープを使うとき



(A面表示例) 曲数 積算時間



(B面表示例) 録音される曲番

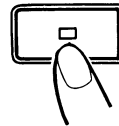


録音できない曲があると点灯します。

- テープがスタートして約9秒後に、CDが演奏を始め、録音が始まります。



オートエディット機能を取り消すには



録音を始める前に、
CDの■ボタンを押す。

録音をやめるには



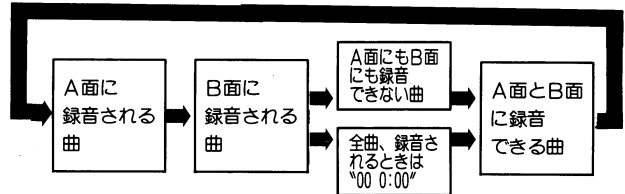
テープbの■ボタンを押す。

録音される曲を確かめるには



録音を始める前に、
TIMEボタンを押す。

- 押すたびに、つぎの内容が表示されます。

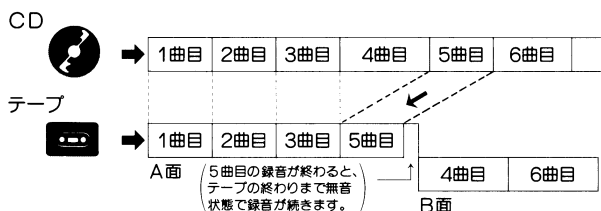


オートエディット機能について

テープをできるだけ余らせないように、CDに入っている曲をA面とB面に自動的にふりわけて編集されます。

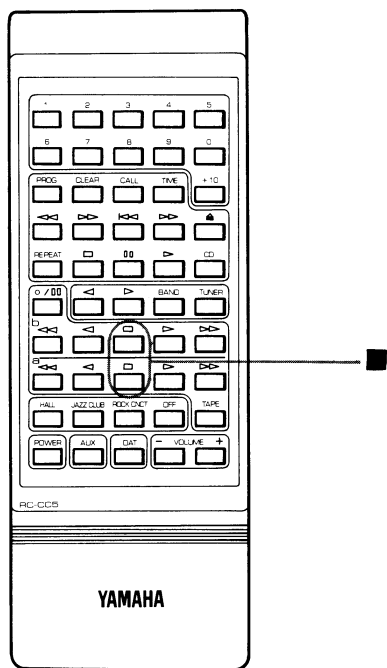
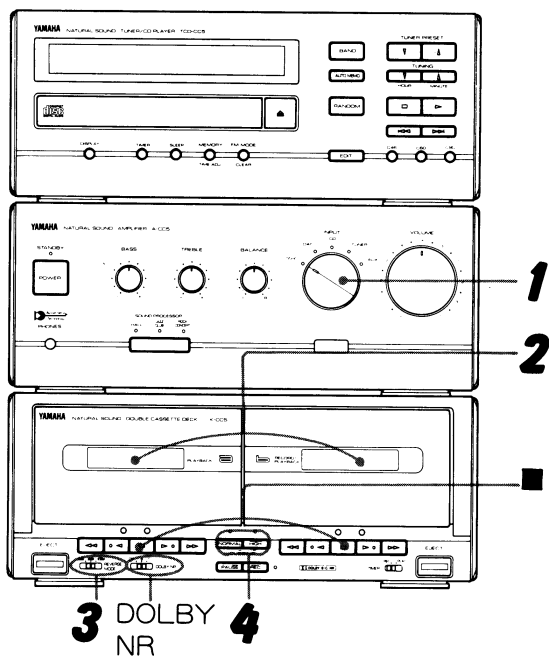
また、プログラム選曲でお好みの曲を選んでおけば、記憶した曲をA面とB面に自動的にふりわけます。

(例) 4曲目がすべて、A面に録音されないため、5曲目を自動的に選びます。



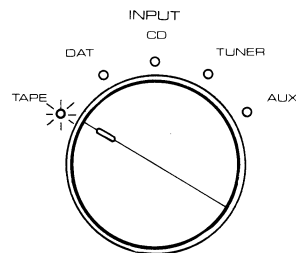
テープ編集するには

テープ編集時には、音量やBASS、TREBLEのトーンコントロールを調整したり、DOLBY NR スイッチを切り換えても録音には影響しません。テープaに録音されている音がそのまま同じレベルでテープbに録音されます。

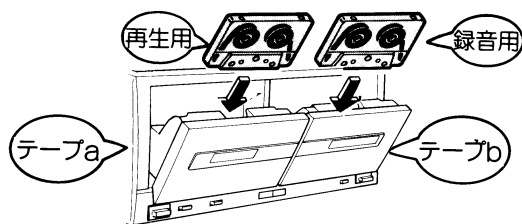


テープ編集するには

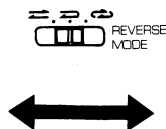
1 INPUTセクターをTAPEに合わせる



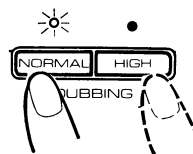
2 両方にテープを入れる。



3 REVERSE MODEを選ぶ。






4 NORMAL/HIGHボタンを押す。



せる。

- 両面に続けて編集するときは、おなじ長さのテープを使うことをおすすめします。

		
片面だけに編集するとき	両面に編集するとき。	

NORMAL	HIGH
通常ので編集	通常ので、より速く編集

- テープのA面から編集が始まります。

通常のでより、より速く編集できて便利です。



テープ編集を止めるには

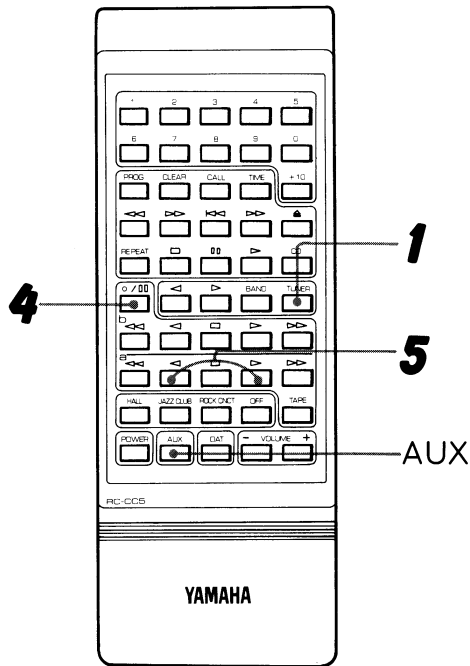
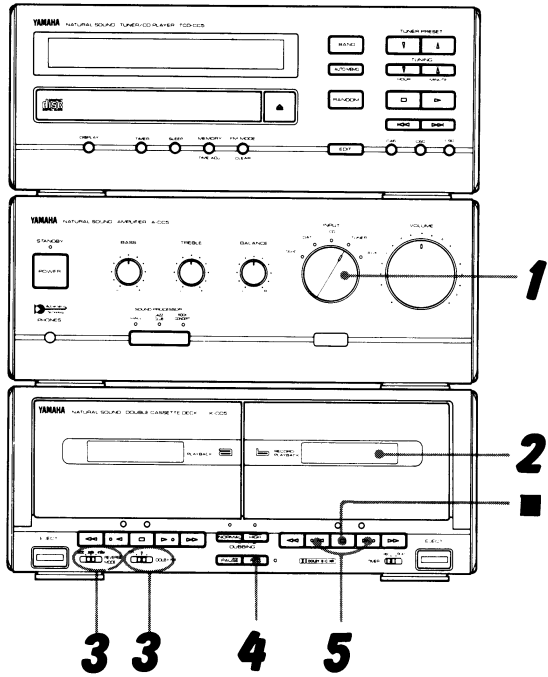


テープaまたはテープbの
■ボタンを押す。

- テープaとテープbが同時に止まります。

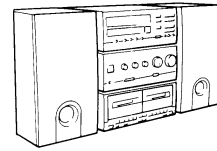
- 録音用と再生用に、長さの違うテープを使うと
- 片面だけ編集しているとき、どちらかのテープが最後まで巻き取られると、両方とも自動的に停止します。
- 両面を編集しているとき、どちらかのテープが最後まで巻き取られ、反転して、もう一方は単独にそのまま走行を続けます。
- テープ編集のときに、TAPE aにTAPE bよりも短いテープを使用する場合は、REVERSE MODEスイッチを必ず“ニ”または“ゴ”の位置にセットしてください。
(“ニ”の位置にセットすると何回も録音が繰り返されます。)

ラジオ放送を録音するには

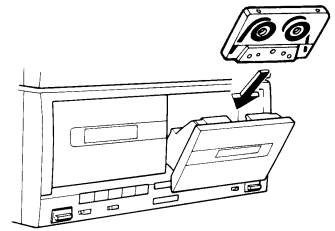


ラジオ放送を録音するには

1 お望みのラジオ放送を受信する。



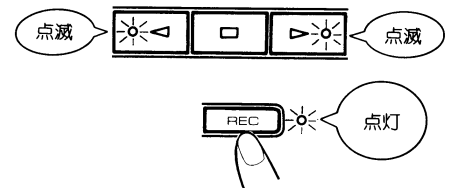
2 テープbに録音用テープを入れる。



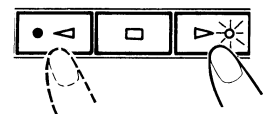
3 ^{ドルビー} DOLBY ^{ノイズリダクション} NR ^{リバース} スイッチとREVERSE

	OFF	B	C
OFF . B . C DOLBY NR	ドルビー-NR 録音しない とき	ドルビー-B NR録音 するとき	ドルビー-C NR録音 するとき

4 ^{レコード} REC ボタンを押す。



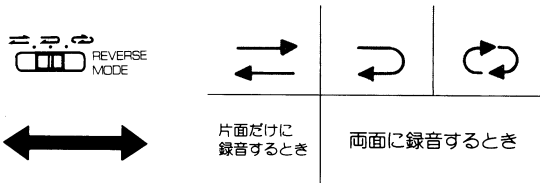
5 録音したい面のボタンを押す。



- テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。



モード MODEスイッチを切り換える。



- 録音の待機状態になります。



B面(反対の面)に
録音するとき



A面(手前の面)に
録音するとき

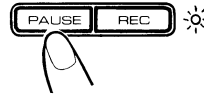
- 両面に続けて録音するときは、A面から始めます。
(B面から始めてもA面には切り換わりません。)

録音を止めるには



■ボタンを押す。

録を一時的に止めるには



^{ポーズ}
PAUSEボタンまたはリ
モコンの ●/|| ボタンを
押す。

- 再び録音を始めるときは、
表示ランプの点滅している
◀または▶ ボタンを押す。

録音されたテープの音を消すには

- 1 消したいテープをテープbに入れる。
- 2 INPUTセレクターをAUXまたはDATのどちらかお使い
になられていないほうに合わせる。
- 3 REVERSE MODEスイッチをお好みに切り換える。
- 4 RECボタンを押す。
- 5 消したい面の◀/▶ ボタンを押す。

ラジオ放送を録音するには

タイマーを使うには

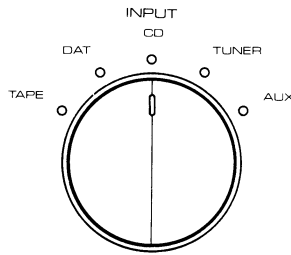
●タイマー時刻を設定する前に、現在の時刻が合っているか、確かめてください。

目覚まし再生をするには

1 聞きたい音源を選ぶ。

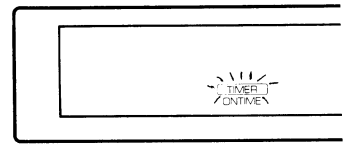
CDを聞くには……15ページ
テープを聞くには……21ページ
ラジオ放送を聞くには……25ページ

●音量を調整します。

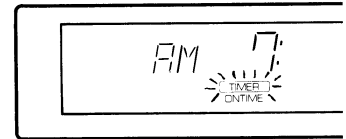
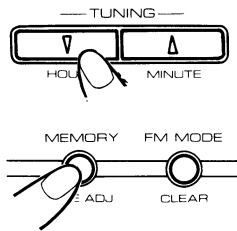


2 ^{ディスプレイ} DISPLAY ボタンを押す。

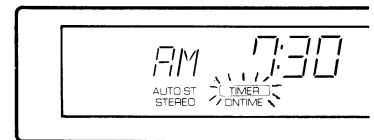
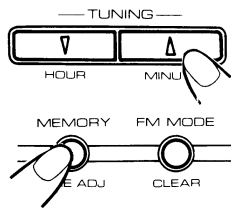
●“ON TIME”を表示させます。



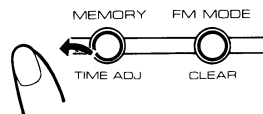
3 ^{タイム} TIME ^{アジャスト} ADJ ボタンを押したまま、^{アワー} HOUR ボタンを押す。



4 ^{タイム} TIME ^{アジャスト} ADJ ボタンを押したまま、^{ミニット} MINUTE ボタンを押す。

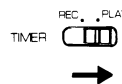


5 ^{タイム} TIME ^{アジャスト} ADJ ボタンから指をはなす。



●タイマー開始時刻の設定をまちがえたときは、CLEARボタンを押して、上の3番と4番の操作をくり返してください。

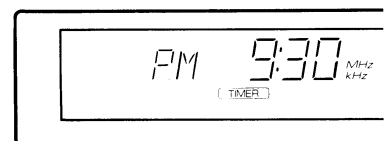
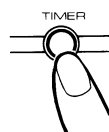
6 テープの音で目覚ましするときは



^{タイマー} TIMER スイッチを
^{プレイ} PLAY に合わせる。

7 ^{タイマー} TIMER ボタンを押す。


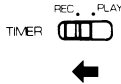

●表示部が消えて、現在時刻がうすく表示されます。



ラジオ放送でお目覚めになったとき
時刻表示を周波数の表示に変えるには、
^{ディスプレイ} DISPLAY ボタンを押します。

時刻がくると、タイマーが動作を始めます。
●タイマーは2時間たつと自動的に電源が切れます。

ラジオ放送を留守録音するには

1	35ページの1～5番の操作をする。	
●音量を調整します。		
2	テープbの■ボタンを押す。	
3	37ページの2～5番の操作をする。	
4	<small>タイマー</small> TIMERスイッチを <small>レコード</small> RECに合わせる。	
5	<small>タイマー</small> TIMERボタンを押す。 ●表示部が消えて、現在時刻が うすく表示されます。	
		●時刻がくると、タイマーが 動作を始めます。 ●タイマーは、2時間たつと 自動的に電源が切れます。

タイマー時刻を確かめるには

ディスプレイ
DISPLAYボタンを押す。

- もう一度押すと、現在時刻の表示に戻ります。

タイマー動作を中止するには

パワー POWERボタンを押す。(TIMER表示は消えます。)

タイマーの記憶について

タイマーに記憶した内容は、電源コードを抜いたり停電にならなければ新しく設定するまで記憶しています。

ご注意

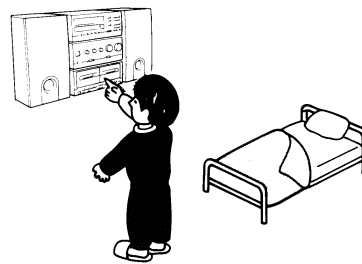
- スリープ動作中に、タイマーが開始するように時刻設定をしないでください。
(スリープ動作が優先となりますので、タイマーは動作をしません。)

タイマーを使うには

聞きながらおやすみになるには

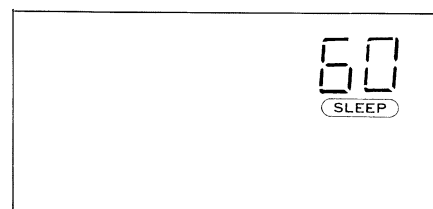
1 聞きながらおやすみになりたいものを操作する。

- CDを聞きながらおやすみ
- テープを聞きながらおやすみ
- ラジオ放送を聞きながらおやすみ



2 ^{スリープ}SLEEP ボタンを押す。

- スリープ時間は自動的に60分に設定されます。
(約5秒たつとSLEEPボタンを押す前の表示に戻ります。)



3 スリープ時間を変えるには

^{スリープ}SLEEP表示が点灯している間に、
^{スリープ}SLEEP ボタンを押す。

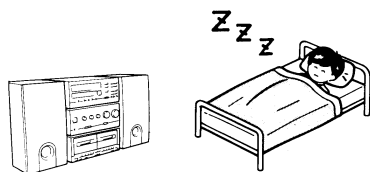
- 押すたびに →60→45→30→15 と変わります。
← 現在時刻表示 ←
(ラジオ放送を聞いているときは周波数表示)



(現在時刻表示または周波数表示にすると約2秒後に電源が切れます。)

タイマーを使うには

時間がくると電源が切れます。



スリープ動作中に残りの時間を確かめるには

^{スリープ}SLEEP ボタンを押す。

スリープ動作を途中でやめるには

^{パワー}POWER ボタンを押す。(^{スリープ}SLEEP表示は消えます。)

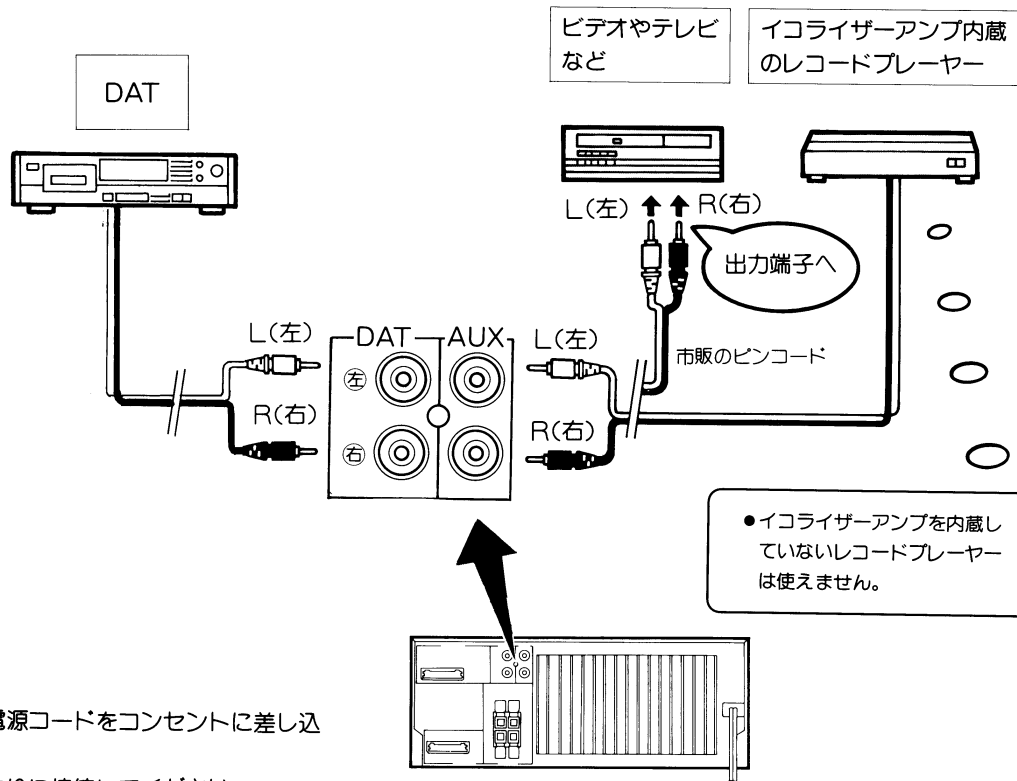
お知らせ

目覚まし再生の準備(37ページの1~7番までの操作)をしたあと、^{スリープ}SLEEP ボタンを押すと、スリープ動作が終わったあと、次の日の目覚ましができます。

このとき、目覚まし再生の準備で設定している音源と別の音源でスリープ動作をすると、次の日に目覚まし再生される音源はスリープ動作時と同じものになります。

外部機器を楽しむには

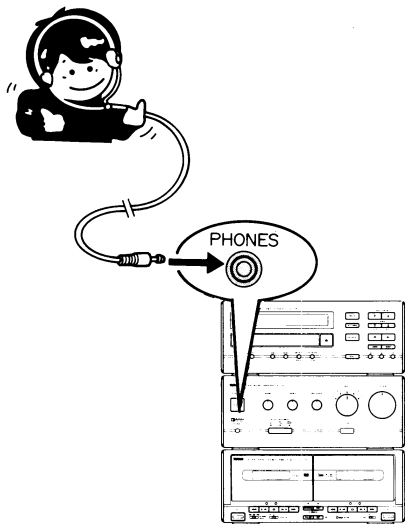
他の機器の演奏音をこの製品で聞いたり、録音したりするには



接続上のご注意

- コードを接続する前に電源コードをコンセントに差し込まないでください。
- コードは決められたとおりに接続してください。
- ピンコードは付属していませんので、お買いあげの販売店でお願いします。
- 各接続コードは最後までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、雑音が出る原因になります。

ヘッドホンで聞くには



- ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は聞こえなくなります。
- インピーダンス16Ω~50Ω(推奨32Ω)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
(ヘッドホンは付属していませんので、お買いあげの販売店でお願いします)



音のエチケット

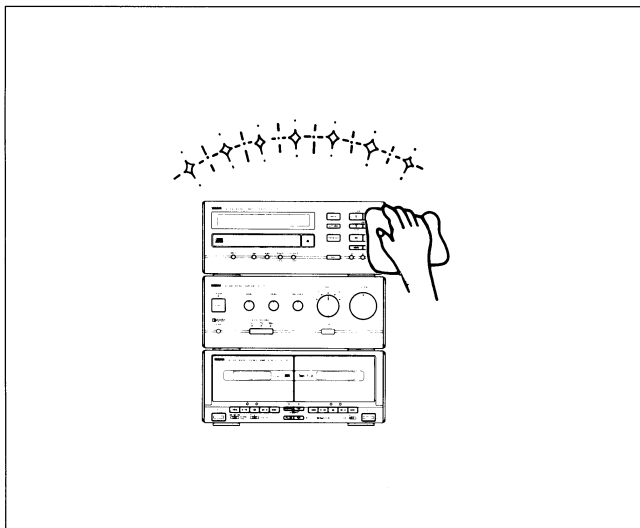
- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

外部機器を楽しむには

お手入れするには

●お手入れする前に、電源コードをコンセントからはずしてください。

本体／リモコン



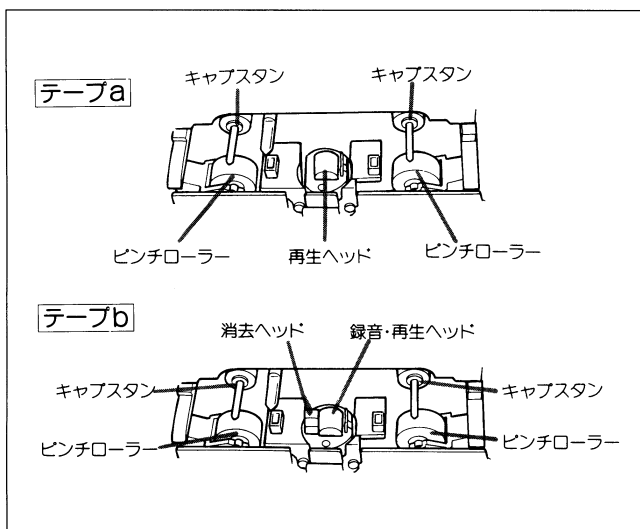
ふつうの汚れは、やわらかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤を布にふくませ、よくしぼってふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

●ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげますので使わないでください。

ヘッド



〈ヘッド部の清掃〉

ヘッドが汚れると、音が歪んだり、高い音が出なくなります。良い音で録音や再生を楽しむために、およそ15時間使用するとに清掃してください。カセットホルダーを開け、走行停止のまま市販のクリーニング液か、アルコールを含ませた綿棒でテープの触れる面を軽くふきます。

〈ヘッド部の消磁〉

長い間使っていたり、ヘッド部に磁気を帯びたものが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をすると、雑音が入ります。このようなときは、市販の消磁テープや消磁器を使って消磁してください。

●油をささないでください。故障の原因になります。

仕様について

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。

(CDプレーヤー部)

型 式	コンパクトディスクプレーヤー
ディスク	コンパクトディスク
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式(半導体レーザー使用)
回転数	約500rpm~200rpm (CLV)
エラー訂正方式	クロスエンターリーブ リードソロモンコード (CIRC)
チャンネル数	2チャンネル
D/A変換	16bit直線
フィルター	16bit デジタルフィルター+アクティブフィルター
周波数特性	10~20,000Hz (EIAJ)
ワウ・フラッター	測定限界以下 (EIAJ)

(タイマー部)

型 式	デジタルクロック式
タイマー	1日1回ON可能
時間精度	月差±20秒(周囲温度25°Cにて)

(アンプ部)

実用最大出力	50W+50W (EIAJ)
音声入力端子	補助入力 : 200mV(47kΩ)ピンジャック×2
音声出力端子	ヘッドホン : 16~50Ω(推奨32Ω) 直径3.5mmステレオミニジャック×1 スピーカー : 6Ω

(チューナー部)

回路方式	スーパーヘテロダイン方式
受信周波数	FM : 76.0~90.0MHz AM : 522~1,629kHz
実用感度	FM : 1μV AM : 500μV/m
アンテナ端子	FM、AM、アース

(共通部)

電 源	100V AC、50/60Hz
消費電力	A-CC5単体の消費電力75W TCD-CC5、K-CC5を接続したときの総合消費電力106W

(デッキ部)

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	テープa : 再生ヘッド×1 テープb : 録音・再生ヘッド×1、消去ヘッド×1
モーター	電子制御DCモーター×1
テープ	ノーマル/クローム/メタル
早巻時間	約120秒(C-60テープにて)
周波数範囲	ノーマルテープ : 30Hz~13,000Hz (EIAJ) クロームテープ : 30Hz~16,000Hz (EIAJ) メタルテープ : 30Hz~17,000Hz (EIAJ)
S/N比	ドルビーC NR ON : 72dB (EIAJ、メタルテープ)

(スピーカー部)

型 式	バスレフ型アクティブ・サーボ方式
スピーカー	2ウェイスピーカーシステム 12cmウーハー、5cmツイーター
再生帯域	40~20,000Hz
最大入力	50W
音圧レベル	87dB/W/m
最大外形寸法	180(幅)×342.5(高さ)×219.5(奥行)mm(EIAJ)
重 量	3.5kg×2

(最大外形寸法)

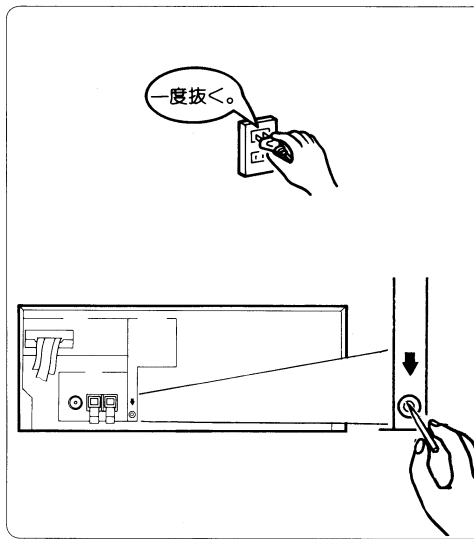
チューナー/CD部	277(幅)×114.5(高さ)×258.5(奥行)mm(EIAJ)
アンプ部	277(幅)×114.5(高さ)×304(奥行)mm(EIAJ)
デッキ部	277(幅)×114.5(高さ)×251.5(奥行)mm(EIAJ)

(重 量)

チューナー/CD部	2.3kg
アンプ部	5.0kg
デッキ部	2.7kg

"故障"かな?と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申し付けになる前にあらかじめお調べください。



- 誤ってスピーカー端子をショート(スピーカーコードの+、-が接触)するとスピーカーから音が出なくなります。このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後再びつないでください。
- この製品を使用中に、強い外来ノイズ(衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけないなどの異常が発生することがあります。このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後再びつないで操作をやり直してみてください。
- チューナーの周波数が正しく表示しなくなったときは、電源コードを抜いて、チューナー/CD部背面のメモリーリセットボタンを約1分間押ししてください。記憶された内容は、すべて消えます。(つまようじなどをお使いください。)

こんなとき

ここをおたしかめください

参照ページ

● 共通

スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘッドホンが差し込まれていませんか。 ● ^{インプット} INPUT セレクターの位置は正しく合っていますか。 ● スピーカーコードがスピーカー端子からはずれていませんか。 	40
低音が出ない。 音源の位置が不明りょう。	<ul style="list-style-type: none"> ● スピーカーの左右どちらかの極性、(⊕⊖)が反対になっていませんか。 	11
"ブーン"という雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調をうけることがあります。電源差し込みプラグの左右を逆に差しかえてみてください。 	—
時計の表示が点滅して動作をしていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 停電がありませんでしたか。時刻を設定し直してください。 	14

● ラジオ放送を聞くとき

FM放送に"ザー"という連続音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの位置が悪くありませんか。 	11
AM放送を聞いているときに、"シー"や"ザー"という連続音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビなどからの雑音が入る、または、放送局間の干渉音が聞こえることがあります。テレビを消すか、テレビから離してください。 	—

こんなとき

ここをおたしかめください

参照ページ

● CDを聞くととき

- CDを入れても総曲数の表示がつかない。
- 操作ボタンを押しても動作をしない。
また、曲の途中で止まってしまい正しい演奏をしなくなる。
- 演奏音がとぎれる。

“no disc”または“Er 0:00”が表示される。

ボタンを押しているうちに、正常な動作をしなくなった。

- CDの裏表をまちがえていませんか。
- ディスクトレイの中に異物が入っていませんか。
- CDに汚れやキズがありませんか。
- 規格外のCDを使用していませんか。
- 振動の多い不安定な場所においていませんか。
- つゆがついていませんか。

- CDにゴミやキズがついていたり、裏表を逆に入れていませんか。

- 演奏位置をさがす動作がボタン操作と対応しなくなることがあります。
一度、電源を切り、再び操作をやり直してください。

15

13

4

15

● テープの録音または聞くととき

レコード REC ボタンを押しても表示ランプがつかない。

録音および再生のとき音がとぎれる。または高音が出ない。

録音および再生のとき音のふるえが多い。

- カセットテープの消去防止用のツメが取り除かれていませんか。

- テープにシワがあつたり、伸びたりしていませんか。
- ヘッド部が汚れていませんか。

- テープが伸びていませんか。
- キャブスタンやピンチローラーが汚れていませんか。

13

41

41

● リモコンを使うとき

正しい動作をしない。

- 乾電池が消耗していませんか。
- 受信部に正しく向けていますか。
- 受信部との距離が遠すぎませんか。または近すぎませんか。
- 受信部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)があたっていませんか。
- 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。
- 乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。

9

● この製品をテレビの近くに置いているとき

“キーン”や“ブーン”という雑音が入る。
または、雑音が録音される。

他のチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じる。

- 使用するテレビによっては、テレビから雑音が入ることがあります。テレビとこの製品の位置を左右入れかえるか、雑音がなくなるまで離してください。または、テレビを消してください。

- 室内アンテナを使用しているチューナーやテレビを近くに置いていませんか。特に、室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。

音楽著作権について

放送やレコード、ディスク、テープなどの音楽作品は、著作権法によって保護されています。
したがって、次のような場合には権利者の許諾が必要です。

1. 放送やレコード、ディスク、テープなどから録音したテープを売る、配る、譲る、貸すときなど。
2. 営利（店のBGMなど）のために、レコード、ディスク、テープなどを演奏するとき。

詳しい内容や申請、その他の手続きについては「音楽著作権協会」の本部またはもよりの支部へお問い合わせください。

日本音楽著作権協会

本 部	☎(03)3502-6551	北陸支部	☎(0762)21-3602
北海道支部	☎(011)221-5088	京都支部	☎(075)251-0134
盛岡支部	☎(0196)52-3201	大阪支部	☎(06) 244-0351
仙台支部	☎(022)264-2266	神戸支部	☎(078)322-0561
大宮支部	☎(048)643-5461	中国支部	☎(082)249-6362
東京支部	☎(03)3562-4455	四国支部	☎(0878)21-9191
西東京支部	☎(03)3232-8301	九州支部	☎(092)441-2285
横浜支部	☎(045)662-6551	鹿児島支部	☎(0992)24-6211
静岡支部	☎(054)254-2621	那覇出張所	☎(098)863-1228
中部支部	☎(052)586-1155		

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

本システムはチューナー／CD部、アンプ部、デッキ部の単体では動作しませんのでチューナー／CD部＋アンプ部＋デッキ部の組み合わせで修理をご依頼ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預かり窓口)

北海道	〒064	札幌市中央区南十条西1-1-50	ヤマハセンター内
		Tel(011)513-5036	
仙台	〒983	仙台市若林区卸町5-7	
		仙台卸商共同配送センター3F	
		Tel(022)236-0249	
新潟	〒950	新潟市万代1-4-8	シルバーボールビル2F
		Tel(025)243-4321	
東京	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4	龍名館ビル
		Tel(03)3255-2241	
首都圏	〒211	川崎市中原区木月1184	
		Tel(044)434-3100	
浜松	〒435	浜松市上西町911	ヤマハ(株)宮竹工場内
		Tel(053)465-1158	
名古屋	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2	
		ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	
		Tel(052)652-2230	
大阪	〒565	吹田市新芦屋下1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内
		Tel(06)877-5262	
神戸	〒650	神戸市中央区元町2-7-3	ヤマハ(株)神戸店内
		Tel(078)321-1195	
四国	〒760	高松市丸亀町8-7	ヤマハ(株)高松店内
		Tel(0878)22-3045	
広島	〒731-01	広島市安佐南区西原 2-27-39	
		Tel(082)874-3787	
九州	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4	
		Tel(092)472-2134	

■お客様ご相談窓口

(ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口)

東京	〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4	龍名館ビル4F
		Tel(03)3255-5691	
		Tel(03)3255-6767	
名古屋	〒460	名古屋市中区錦一丁目18-28	
		Tel(052)232-5740	
大阪	〒556	大阪市浪速区難波中1-13-17	
		なんば辻本ニッセイビル	
		Tel(06)647-6411	
本社	〒430	浜松市中沢町10-1	
		AV機器事業部	
		お客様ご相談センター	
		Tel(053)460-3409	

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部

Tel(053)460-3451

品質保証室



Tel(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

YAMAHA

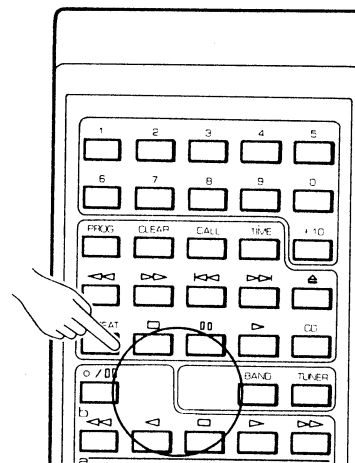
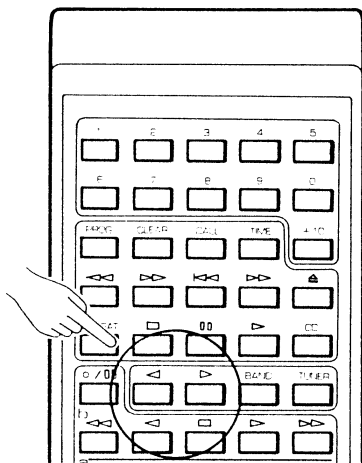
ヤマハ ニューコンパクトステレオ CC-5 取扱説明書 正誤表

CC-5の取扱説明書に誤りがあります。お詫びいたしますとともに訂正させていただきます。

取扱説明書ではリモコンの   チューナープリセットボタンが説明されていますが、本機のリモコンには付いてません。

誤

正



主な説明ページ 8ページ 各部のなまえ 9行目

25ページ リモコンのイラスト

27ページ リモコンのイラスト、操作4の表示

上記以外にもリモコンのイラストに誤りがありますことをお詫びいたします。

16ページ 操作4の表示

誤： "曲ごとの経過時間"の文字が、違うところを指している。

正： 時間の表示を指します。

42ページ (CDプレーヤー部)の周波数特性の項目

誤： 周波数特性 10~20,000Hz (EIAJ)

正： 周波数特性 20~20,000Hz (EIAJ)

42ページ (CDプレーヤー部)のテープ～S Nの項目

誤： テープ ノーマル/クローム/メタル

早巻時間 約120秒 (C-60テープにて)

周波数範囲 ノーマルテープ：30Hz～13,000Hz (EIAJ)

クロームテープ：30Hz～16,000Hz (EIAJ)

メタルテープ：30Hz～17,000Hz (EIAJ)

S N 比 ドルビーC NR ON：72dB (EIAJ、メタルテープ)

正： テープ ノーマル/クローム

早巻時間 約120秒 (C-60テープにて)

周波数範囲 ノーマルテープ：30Hz～13,000Hz (EIAJ)

クロームテープ：30Hz～14,000Hz (EIAJ)

S N 比 ドルビーC NR ON：72dB

